

平成15年6月7日

朝日村中央生涯学習施設『すまいる』

庄内南部地区の現状

第1回 第三小委員会説明資料

農林水産部会

目 次

I 農政分科会

1 農家数（専兼別農家数）	1
2 年齢別就業人口	2
3 経営耕地面積（地目別面積）	4
4 経営耕地規模別農家数	5
5 耕作放棄地面積	6
6 農業粗生産額	7
7 畜産（肉用牛・豚の飼養戸数・頭数）	8
8 生産調整実施状況	9

○農村整備関係

1 管理農道と舗装化の状況	1 0
2 関係土地改良区の状況と市町村別管理面積	1 1

II 林業分科会

1 森林資源と民有林の蓄積の状況	1 2
2 林業経営の状況	1 4
3 特用林産物	1 8
4 林道整備と管理	1 9
5 森林の多様な機能の保全状況	2 0

III 水産分科会

1 漁業経営体数（うち個人経営体数）の状況	2 2
2 漁業就業者数の状況	2 2
3 漁船総艘数の状況	2 3
4 漁獲量の状況	2 4
5 漁獲金額の状況	2 5
6 1 経営体平均漁獲金額	2 5
7 放流事業の状況	2 6

IV 農業委員会分科会

1 認定農業者数の状況	2 7
2 農業委員数の状況	2 8
3 農地移動の状況	2 9

庄内南部地区における農業の動向

1. 農家数 (出典: 山形県の農業)

農林水産部会 農政分科会

[現状]

各市町村とも減少しており、中でも1種兼業の減少が顕著。専業・2種兼業は定着化の傾向。

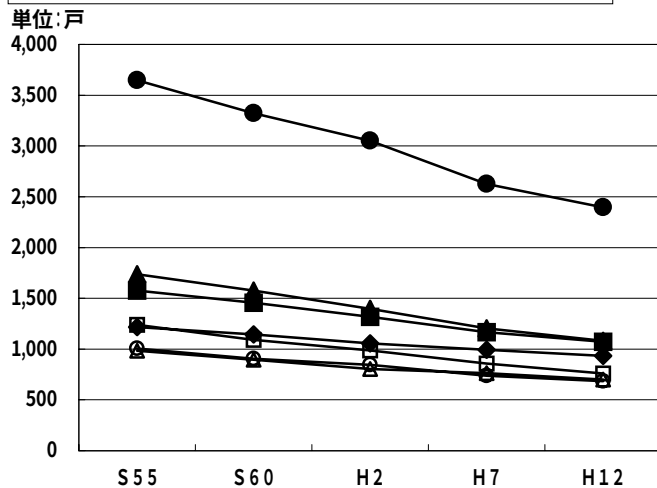
(1) 農家数計

(単位: 戸)

	S55	S60	H2	H7	H12
鶴岡市	3,648	3,321	3,050	2,626	2,396
藤島町	1,736	1,575	1,395	1,205	1,081
羽黒町	1,576	1,457	1,319	1,167	1,073
櫛引町	1,217	1,145	1,055	994	933
三川町	1,007	905	844	737	684
朝日村	983	894	803	764	701
温海町	1,238	1,091	987	858	760
合計	11,405	10,388	9,453	8,351	7,628

農家数計

● 鶴岡市 ▲ 藤島町 ■ 羽黒町 ◆ 櫛引町
○ 三川町 △ 朝日村 □ 温海町



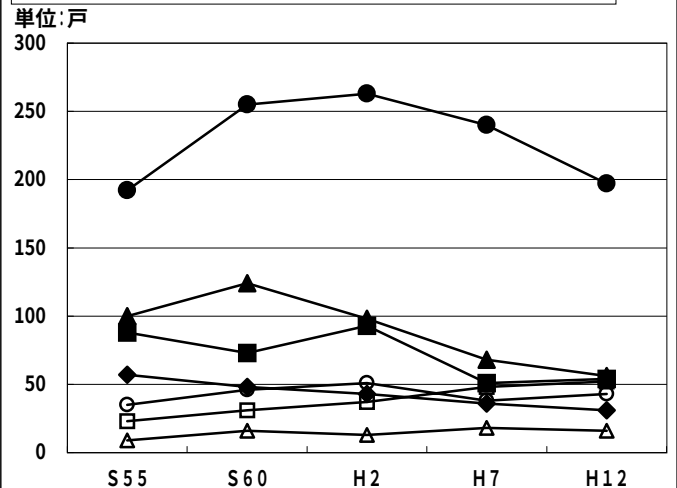
(2) 専業農家数

(単位: 戸)

	S55	S60	H2	H7	H12
鶴岡市	192	255	263	240	197
藤島町	100	124	98	68	56
羽黒町	88	73	93	51	54
櫛引町	57	48	43	36	31
三川町	35	46	51	38	43
朝日村	9	16	13	18	16
温海町	23	31	37	48	52
合計	504	593	598	499	449

専業農家数

● 鶴岡市 ▲ 藤島町 ■ 羽黒町 ◆ 櫛引町
○ 三川町 △ 朝日村 □ 温海町



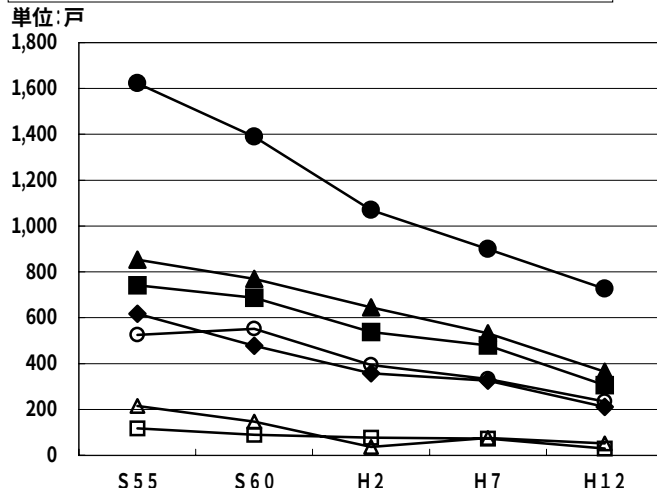
(3) 第1種兼業農家数

(単位: 戸)

	S55	S60	H2	H7	H12
鶴岡市	1,623	1,390	1,070	899	726
藤島町	853	769	645	532	365
羽黒町	742	687	537	479	306
櫛引町	617	478	358	326	211
三川町	525	551	394	333	234
朝日村	215	146	36	76	52
温海町	117	89	77	72	29
合計	4,692	4,110	3,117	2,717	1,923

第1種兼業農家数

● 鶴岡市 ▲ 藤島町 ■ 羽黒町 ◆ 櫛引町
○ 三川町 △ 朝日村 □ 温海町



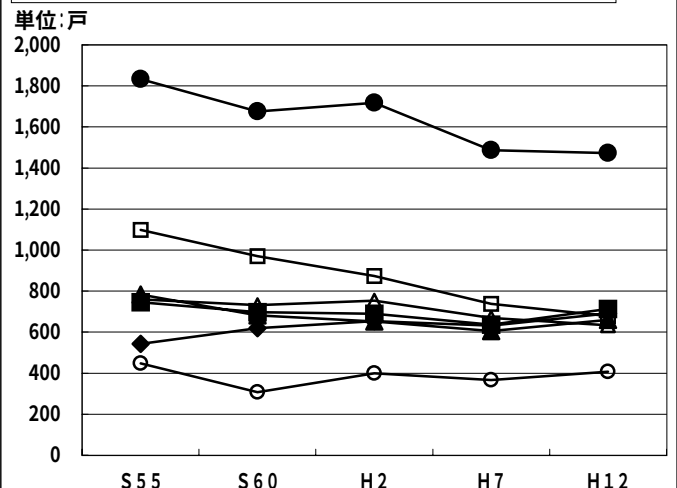
(4) 第2種兼業農家数

(単位: 戸)

	S55	S60	H2	H7	H12
鶴岡市	1,833	1,676	1,717	1,487	1,473
藤島町	783	682	652	605	660
羽黒町	746	697	689	637	713
櫛引町	543	619	654	632	691
三川町	447	308	399	366	407
朝日村	759	732	754	670	633
温海町	1,098	971	873	738	679
合計	6,209	5,685	5,738	5,135	5,256

第2種兼業農家数

● 鶴岡市 ▲ 藤島町 ■ 羽黒町 ◆ 櫛引町
○ 三川町 △ 朝日村 □ 温海町



[課題]

農家数の減少に伴う耕作放棄地の増加を防ぐため、担い手等への農地の集積が必要。

庄内南部地区における農業の動向

2. 年齢別農業就業人口 (出典: 山形県の農業)

農林水産部会 農政分科会

[現状]

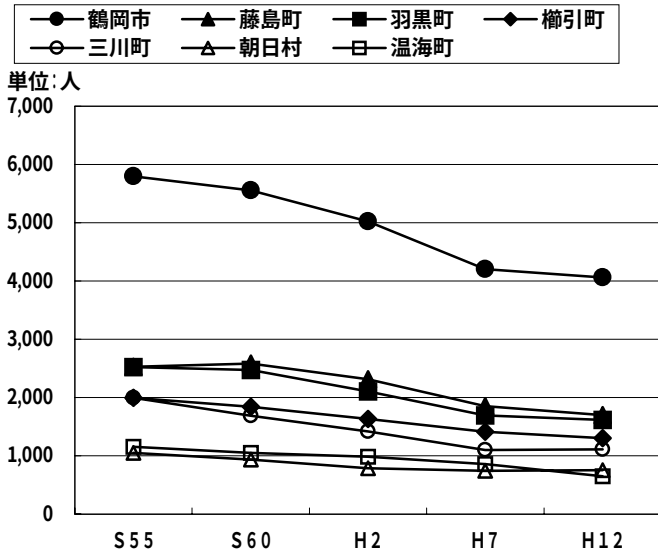
農業就業人口が減少している中で、60才以上の割合が増加しており、高齢化が進んでいる。

(1) 農業就業人口計

(単位: 人)

	S55	S60	H2	H7	H12
鶴岡市	5,799	5,557	5,022	4,202	4,062
藤島町	2,525	2,584	2,312	1,852	1,697
羽黒町	2,523	2,474	2,102	1,695	1,615
櫛引町	1,994	1,841	1,631	1,412	1,302
三川町	1,996	1,689	1,417	1,101	1,111
朝日村	1,050	933	788	743	752
温海町	1,153	1,047	984	857	647
合計	17,040	16,125	14,256	11,862	11,186

農業就業人口計

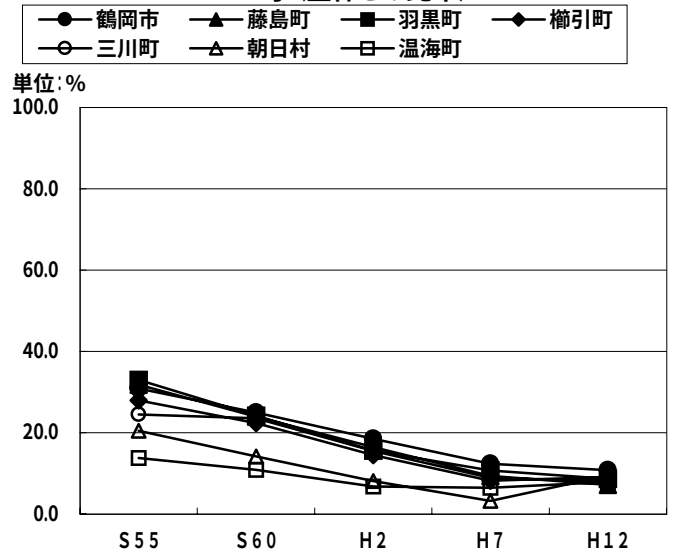


(2) ~39才

(単位: %)

	S55	S60	H2	H7	H12
鶴岡市	30.9	25.0	18.5	12.4	10.8
藤島町	31.8	24.0	16.4	9.4	7.1
羽黒町	33.0	24.2	15.6	10.7	8.7
櫛引町	28.0	22.3	14.5	8.2	9.1
三川町	24.4	23.6	15.5	8.9	8.1
朝日村	20.5	14.1	8.1	3.2	9.4
温海町	13.8	10.9	6.8	6.4	7.9
合計	28.4	22.7	15.6	9.8	9.2

~39才 (全体との比率)

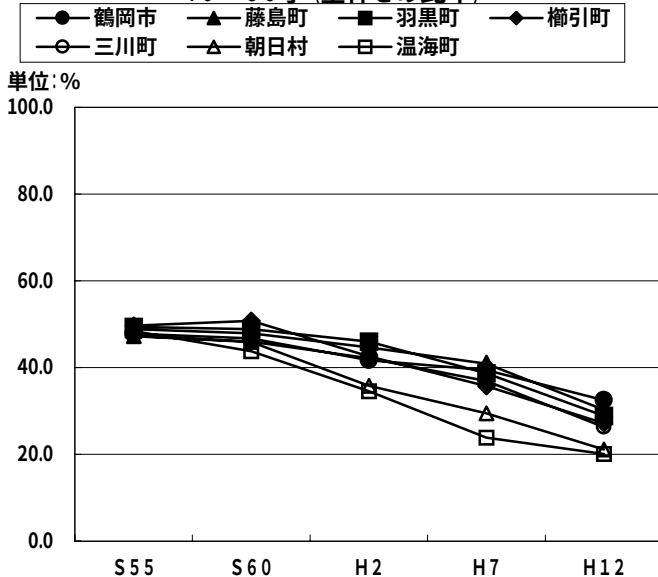


(3) 40~59才

(単位: %)

	S55	S60	H2	H7	H12
鶴岡市	47.8	46.7	41.7	39.4	32.5
藤島町	48.8	47.9	44.7	40.9	30.3
羽黒町	49.3	48.9	46.0	38.6	28.9
櫛引町	49.7	50.8	42.6	35.7	27.2
三川町	47.3	46.0	42.1	36.9	26.3
朝日村	47.2	45.9	35.8	29.5	21.1
温海町	48.4	43.7	34.6	23.8	20.1
合計	48.4	47.4	42.1	37.1	28.9

40~59才 (全体との比率)

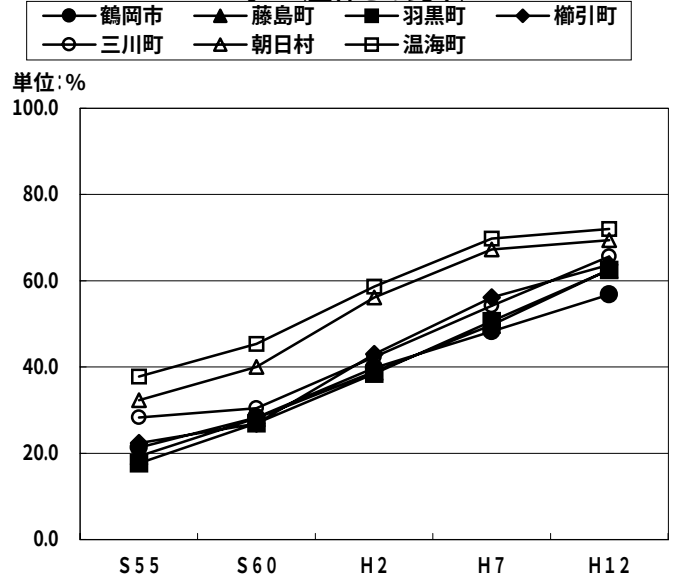


(4) 60才~

(単位: %)

	S55	S60	H2	H7	H12
鶴岡市	21.3	28.3	39.8	48.2	56.8
藤島町	19.3	28.2	38.9	49.7	62.6
羽黒町	17.7	26.9	38.4	50.6	62.5
櫛引町	22.3	26.9	43.0	56.1	63.7
三川町	28.3	30.4	42.3	54.2	65.6
朝日村	32.3	40.0	56.1	67.3	69.4
温海町	37.8	45.4	58.6	69.8	72.0
合計	23.2	29.9	42.3	53.1	61.9

60才~ (全体との比率)



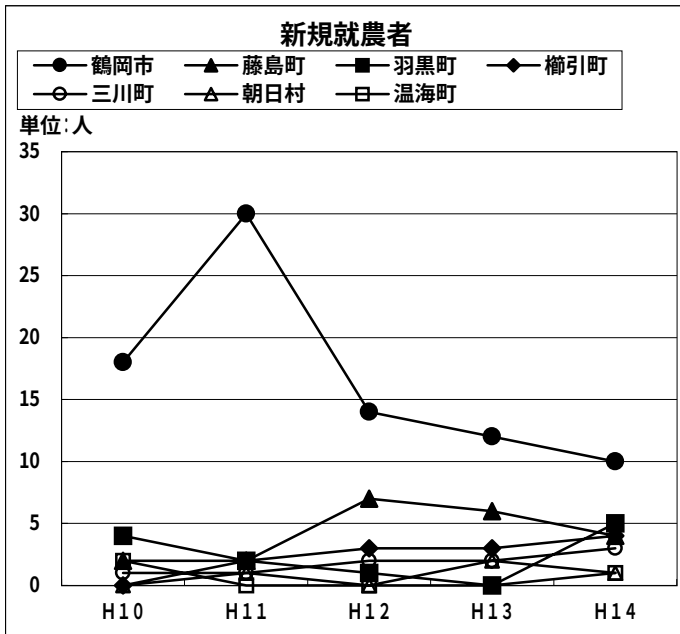
庄内南部地区における農業の動向

(5) 新規就農者 (普及センター調査)

(単位:人)

農林水産部会 農政分科会

	H10	H11	H12	H13	H14
鶴岡市	18	30	14	12	10
藤島町	2	2	7	6	4
羽黒町	4	2	1	0	5
櫛引町	0	2	3	3	4
三川町	1	1	2	2	3
朝日村	0	1	0	2	1
温海町	2	0	0	0	1
合計	27	38	27	25	28



[課題]

農業者の高齢化が進んでいることから、新規就農者の確保が必要である。

庄内南部地区における農業の動向

3. 経営耕地面積 (出典: 山形県の農業)

農林水産部会 農政分科会

[現状]

市街地の拡大とそれに伴う道路等のインフラ整備及び高速道の建設で経営耕地が減少している。

(1) 経営耕地面積計

(単位: a)

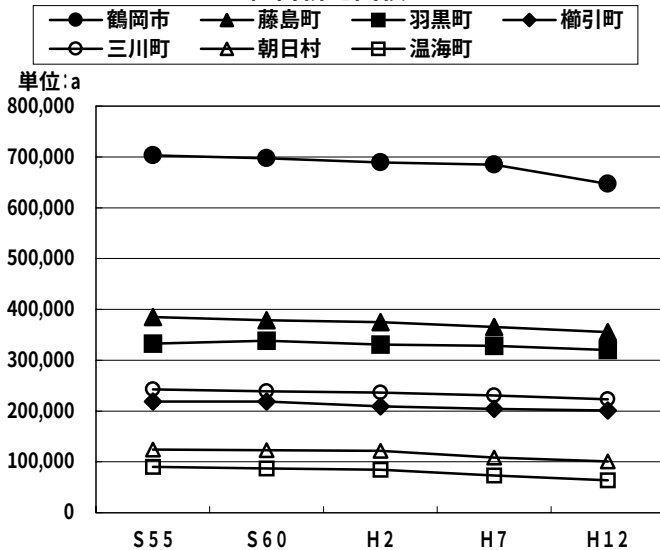
	S55	S60	H2	H7	H12
鶴岡市	702,725	697,080	688,959	684,414	646,898
藤島町	384,772	378,849	374,606	365,620	355,126
羽黒町	332,468	338,016	330,627	328,058	320,149
櫛引町	218,522	218,640	209,055	204,311	200,824
三川町	242,498	238,846	236,239	230,316	223,085
朝日村	124,215	122,837	121,310	108,179	101,073
温海町	90,288	87,082	84,451	72,935	63,487
合計	2,095,488	2,081,350	2,045,247	1,993,833	1,910,642

(2) 田

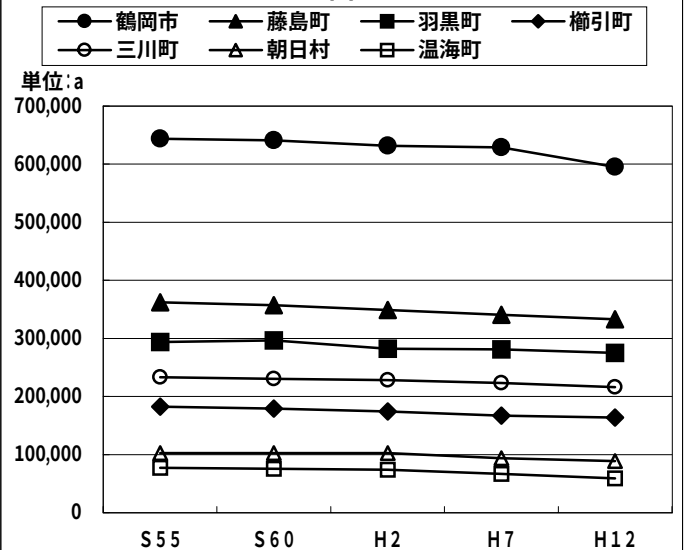
(単位: a)

	S55	S60	H2	H7	H12
鶴岡市	643,783	640,806	631,444	628,687	595,103
藤島町	362,357	357,391	349,047	340,357	332,982
羽黒町	293,862	296,305	282,328	281,342	274,998
櫛引町	182,608	179,400	174,142	167,168	163,699
三川町	233,058	230,201	228,373	223,152	216,259
朝日村	102,440	102,310	102,556	93,561	88,558
温海町	77,220	75,295	73,915	66,768	58,871
合計	1,895,328	1,881,708	1,841,805	1,801,035	1,730,470

経営耕地面積



田

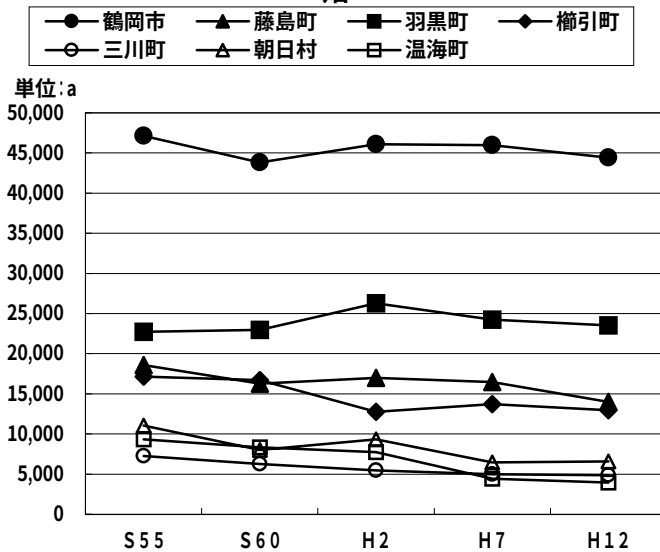


(3) 畑

(単位: a)

	S55	S60	H2	H7	H12
鶴岡市	47,123	43,817	46,104	45,955	44,408
藤島町	18,600	16,252	16,996	16,459	14,007
羽黒町	22,742	22,980	26,287	24,236	23,517
櫛引町	17,151	16,703	12,742	13,722	12,951
三川町	7,267	6,249	5,444	4,965	4,878
朝日村	11,031	8,001	9,346	6,465	6,563
温海町	9,313	8,333	7,751	4,413	3,954
合計	133,227	122,335	124,670	116,215	110,278

畑

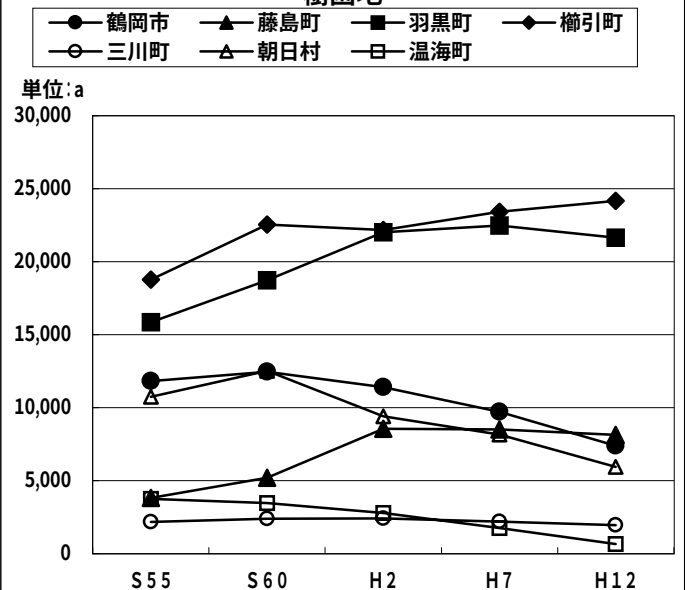


(4) 樹園地

(単位: a)

	S55	S60	H2	H7	H12
鶴岡市	11,819	12,457	11,408	9,722	7,387
藤島町	3,815	5,206	8,563	8,504	8,137
羽黒町	15,864	18,731	22,012	22,480	21,634
櫛引町	18,763	22,537	22,171	23,421	24,174
三川町	2,173	2,396	2,422	2,199	1,948
朝日村	10,744	12,526	9,408	8,153	5,952
温海町	3,755	3,454	2,785	1,754	662
合計	66,933	77,307	78,769	76,233	69,894

樹園地



[課題]

経営耕地については、「田」が大部分を占めるが、今後、産地づくりの面で、畑地・樹園地の振興策が必要である。

庄内南部地区における農業の動向

4. 経営耕地規模別農家数 (出典:山形県の農業) [現状]

農林水産部会 農政分科会

1戸当りの平均面積は増加しており、大規模化の傾向。

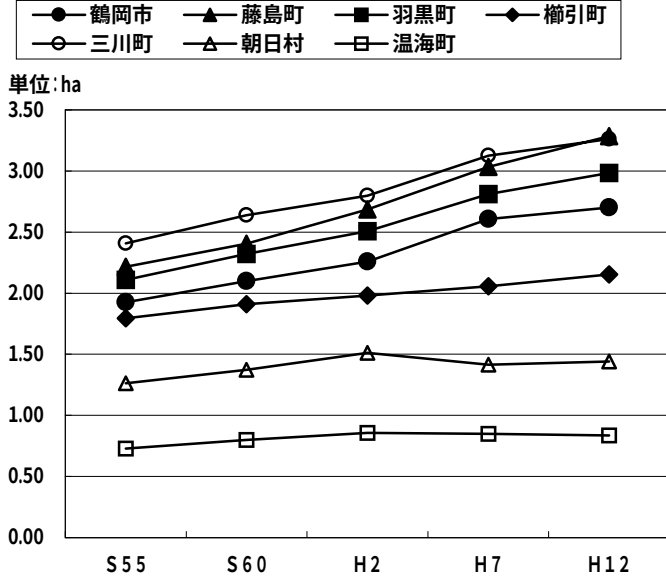
(1) 1戸当り平均 (単位:ha)

	S55	S60	H2	H7	H12
鶴岡市	1.93	2.10	2.26	2.61	2.70
藤島町	2.22	2.41	2.69	3.03	3.29
羽黒町	2.11	2.32	2.51	2.81	2.98
櫛引町	1.80	1.91	1.98	2.06	2.15
三川町	2.41	2.64	2.80	3.13	3.26
朝日村	1.26	1.37	1.51	1.42	1.44
温海町	0.73	0.80	0.86	0.85	0.84
合計	1.84	2.00	2.16	2.39	2.50

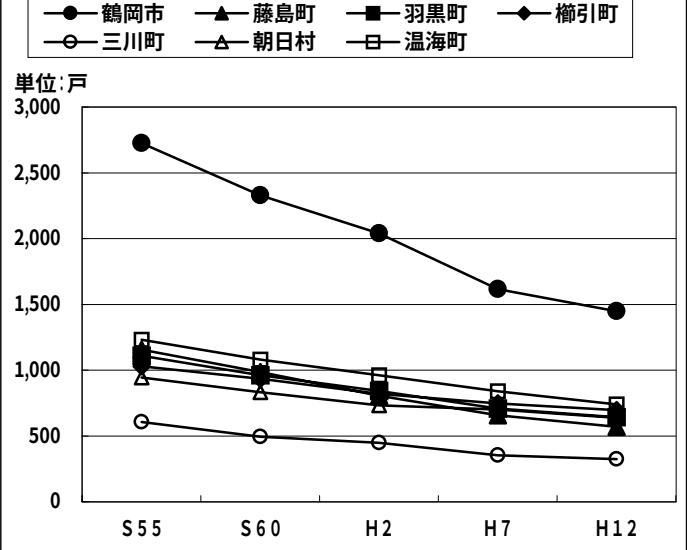
(2) ~3ha (単位:戸)

	S55	S60	H2	H7	H12
鶴岡市	2,726	2,328	2,038	1,615	1,448
藤島町	1,155	986	805	657	570
羽黒町	1,109	960	843	708	642
櫛引町	1,030	934	821	748	695
三川町	606	493	448	354	324
朝日村	944	832	732	700	637
温海町	1,231	1,081	962	840	740
合計	8,801	7,614	6,649	5,622	5,056

1戸当り平均



~3ha



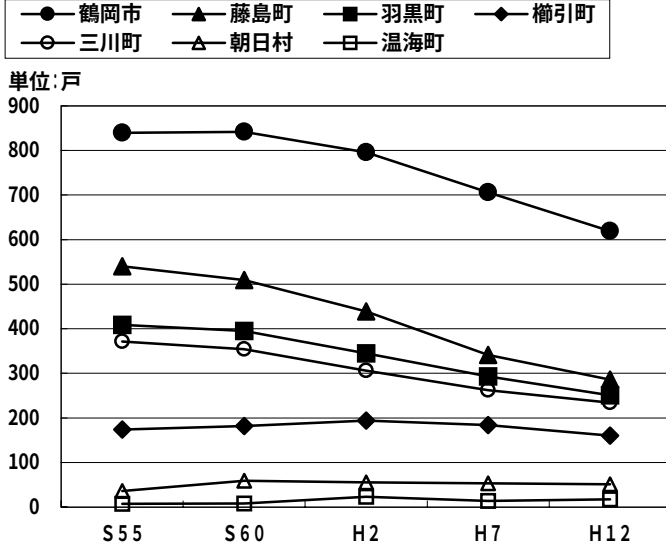
(3) 3~5ha (単位:戸)

	S55	S60	H2	H7	H12
鶴岡市	840	842	796	706	619
藤島町	540	509	439	341	286
羽黒町	409	395	345	293	251
櫛引町	174	182	194	184	160
三川町	371	354	306	262	234
朝日村	36	59	55	53	51
温海町	7	8	23	14	17
合計	2,377	2,349	2,158	1,853	1,618

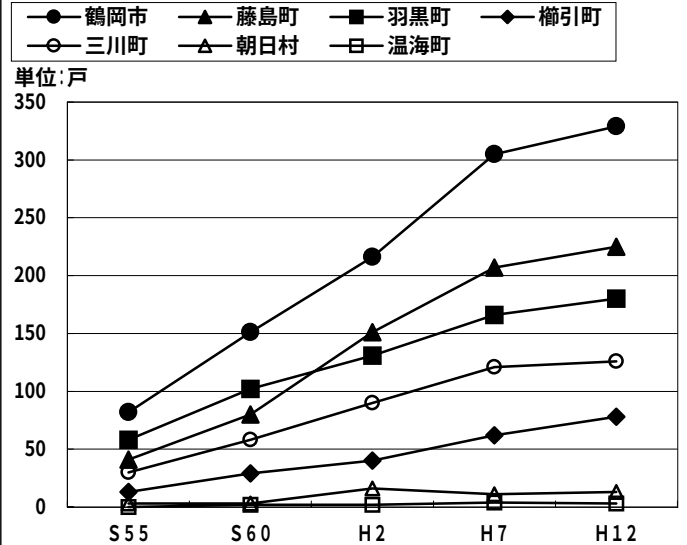
(4) 5ha~ (単位:戸)

	S55	S60	H2	H7	H12
鶴岡市	82	151	216	305	329
藤島町	41	80	151	207	225
羽黒町	58	102	131	166	180
櫛引町	13	29	40	62	78
三川町	30	58	90	121	126
朝日村	3	3	16	11	13
温海町	0	2	2	4	3
合計	227	425	646	876	954

3~5ha



5ha~



[課題]

農家戸数の減少から、今後とも担い手への農地集積の推進が望まれる。

庄内南部地区における農業の動向

5. 耕作放棄地 (出典: 山形県の農業)

農林水産部会 農政分科会

(単位: a)

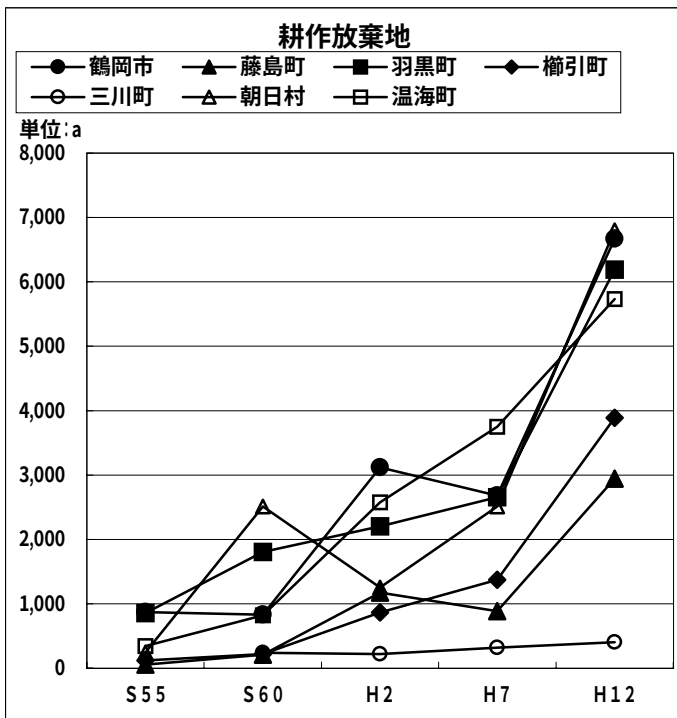
	S55	S60	H2	H7	H12
鶴岡市	872	829	3,116	2,682	6,667
藤島町	53	209	1,175	883	2,944
羽黒町	856	1,805	2,203	2,654	6,191
櫛引町	117	219	866	1,371	3,888
三川町		238	221	319	403
朝日村	246	2,511	1,255	2,512	6,804
温海町	342	822	2,575	3,747	5,735
合計	2,486	6,633	11,411	14,168	32,632

[現状]

どの市町村でも耕作放棄地の面積は増加している。傾向として、山間地を有する市町村の増加が顕著である。

[課題]

グリーンツーリズム等、中山間地での新たな農地の活用と担い手等への集積。



庄内南部地区における農業の動向

6. 農業粗生産額 (出典: 山形農林水産統計年報)

農林水産部会 農政分科会

[現状]

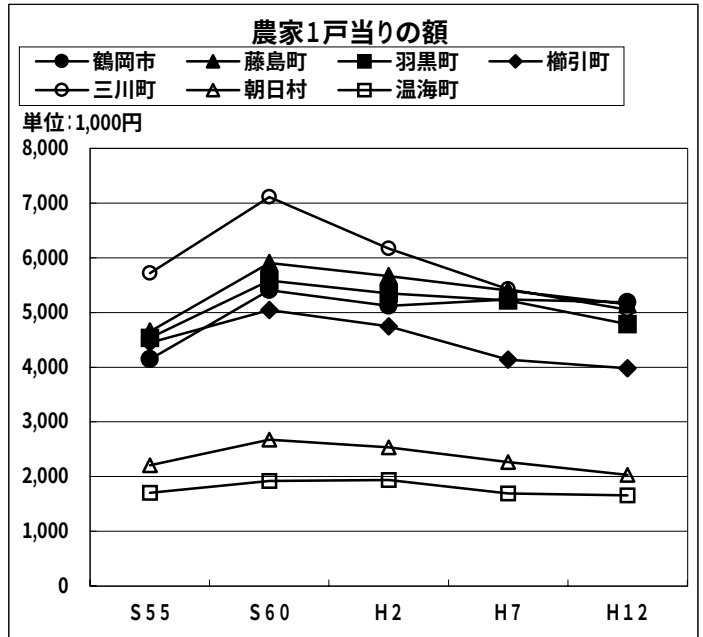
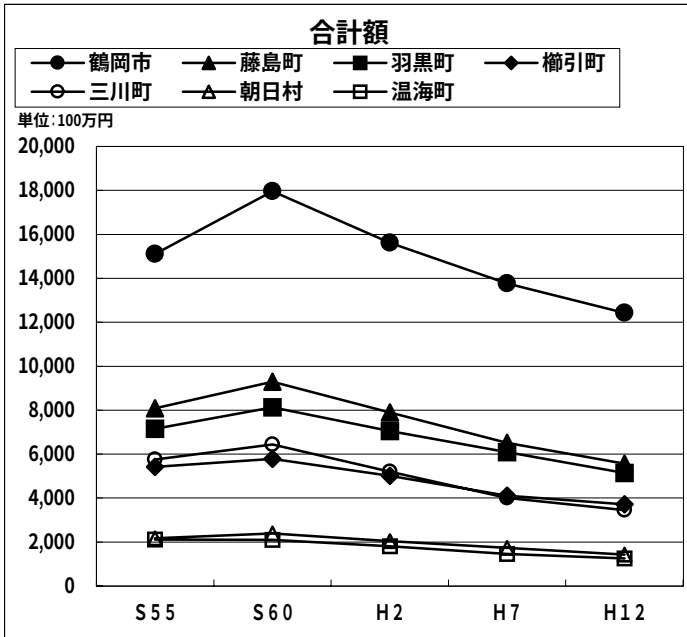
米価の低下等により合計額は減少している。米の占める割合は、市町村の土地条件により30ポイント程度の開きがある。(H12)

(1) 合計額 (単位: 100万円)

	S55	S60	H2	H7	H12
鶴岡市	15,111	17,962	15,615	13,760	12,430
藤島町	8,078	9,298	7,902	6,510	5,570
羽黒町	7,152	8,132	7,054	6,090	5,140
櫛引町	5,413	5,777	5,010	4,110	3,720
三川町	5,756	6,437	5,205	4,000	3,450
朝日村	2,170	2,392	2,036	1,730	1,430
温海町	2,106	2,097	1,813	1,450	1,260
合計	45,786	52,095	44,635	37,650	33,000

(2) 農家1戸当りの額 (単位: 1,000円)

	S55	S60	H2	H7	H12
鶴岡市	4,142	5,409	5,120	5,240	5,187
藤島町	4,653	5,903	5,665	5,402	5,150
羽黒町	4,538	5,581	5,348	5,219	4,788
櫛引町	4,448	5,045	4,749	4,135	3,982
三川町	5,716	7,112	6,167	5,427	5,050
朝日村	2,208	2,676	2,535	2,264	2,033
温海町	1,701	1,922	1,937	1,690	1,658
合計	4,015	5,015	4,722	4,508	4,326

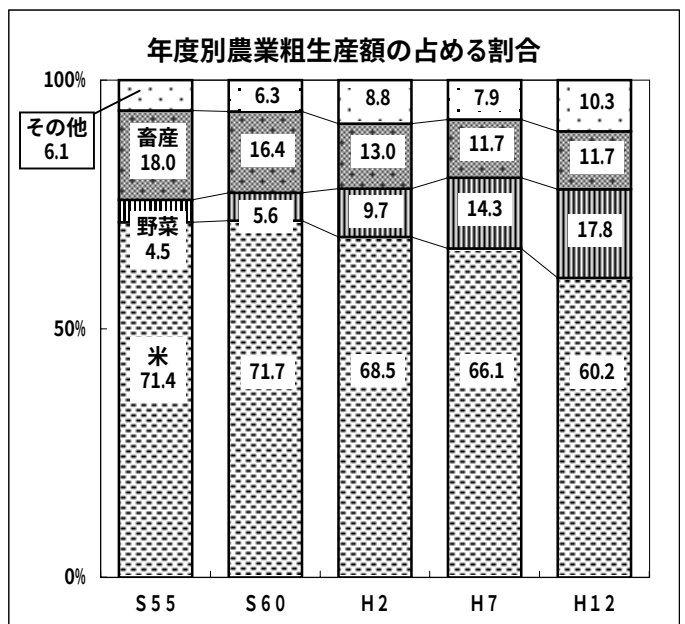
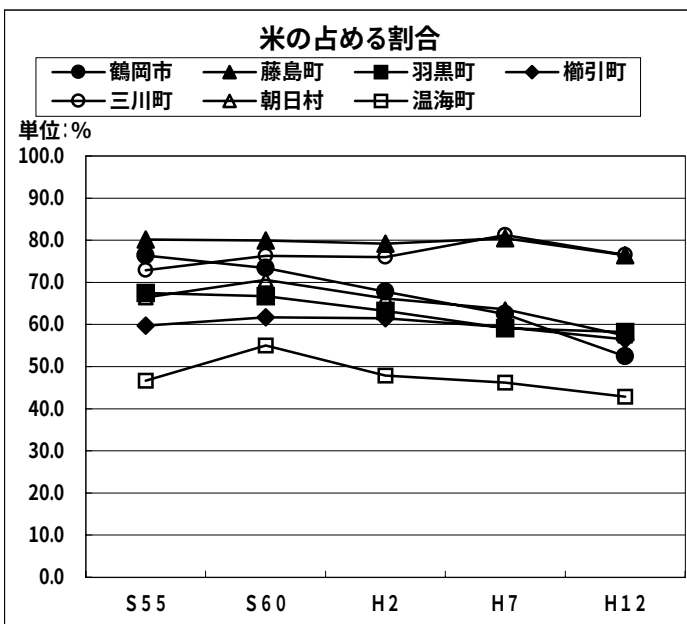


(3) 米の占める割合 (単位: %)

	S55	S60	H2	H7	H12
鶴岡市	76.4	73.4	67.8	62.4	52.5
藤島町	80.2	79.9	79.2	80.5	76.5
羽黒町	67.5	66.7	63.2	59.1	58.2
櫛引町	59.8	61.7	61.5	59.4	56.5
三川町	72.9	76.3	76.0	81.3	76.5
朝日村	66.4	70.6	66.2	63.6	57.3
温海町	46.7	55.0	47.9	46.2	42.9
合計	71.4	71.7	68.5	66.1	60.2

(4) 年度別農業粗生産額の占める割合 (単位: %)

	S55	S60	H2	H7	H12
米	71.4	71.7	68.5	66.1	60.2
野菜	4.5	5.6	9.7	14.3	17.8
畜産	18.0	16.4	13.0	11.7	11.7
その他	6.1	6.3	8.8	7.9	10.3



[課題]

農家の所得向上と農家経営の安定のため、園芸や畜産部門を取り入れた複合経営を進める必要がある。

庄内南部地区における農業の動向

7. 畜産 (出典: 山形県の農業)

農林水産部会 農政分科会

[現状]

戸数・頭数とも減少しているが、1戸当り頭数は増加しており、大規模化の傾向にある。

(1) 肉用牛飼養農家数

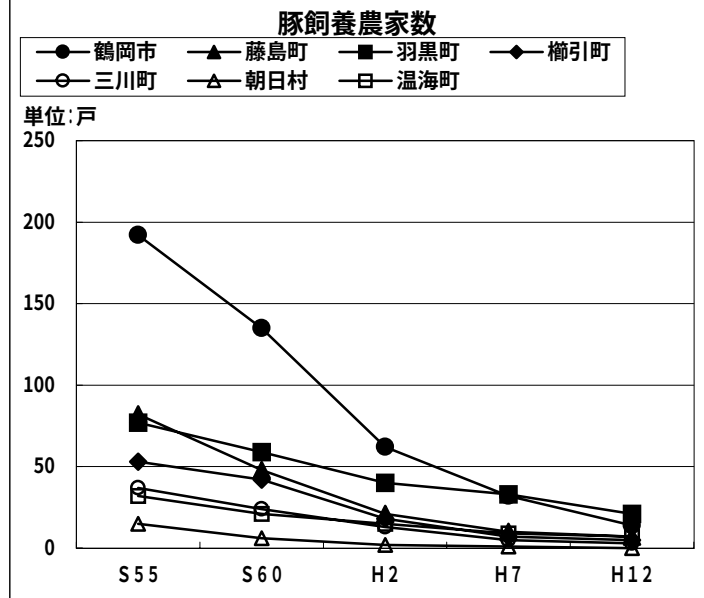
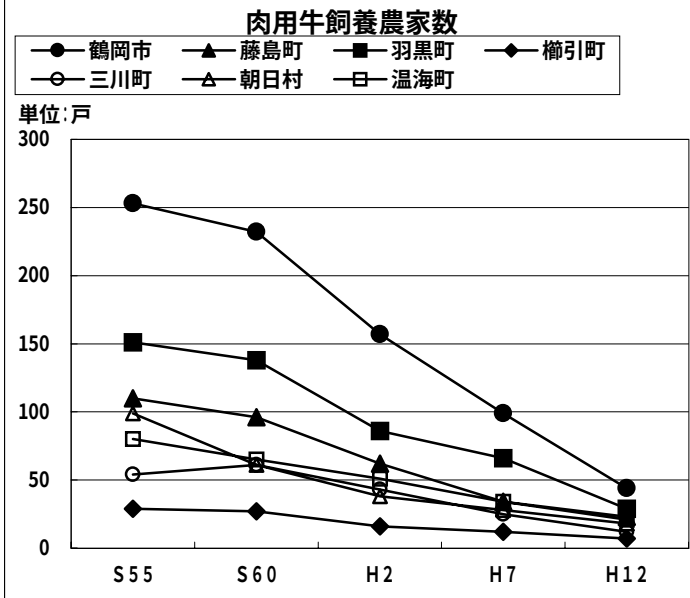
(単位: 戸)

	S55	S60	H2	H7	H12
鶴岡市	253	232	157	99	44
藤島町	110	96	62	34	23
羽黒町	151	138	86	66	29
櫛引町	29	27	16	12	7
三川町	54	61	43	25	12
朝日村	99	61	38	28	18
温海町	80	65	51	34	21
合計	776	680	453	298	154

(2) 豚飼養農家数

(単位: 戸)

	S55	S60	H2	H7	H12
鶴岡市	192	135	62	32	14
藤島町	82	48	21	10	7
羽黒町	77	59	40	33	21
櫛引町	53	42	18	7	5
三川町	37	24	13	5	3
朝日村	15	6	2	1	0
温海町	32	21	15	9	7
合計	488	335	171	97	57



(3) 肉用牛飼養頭数

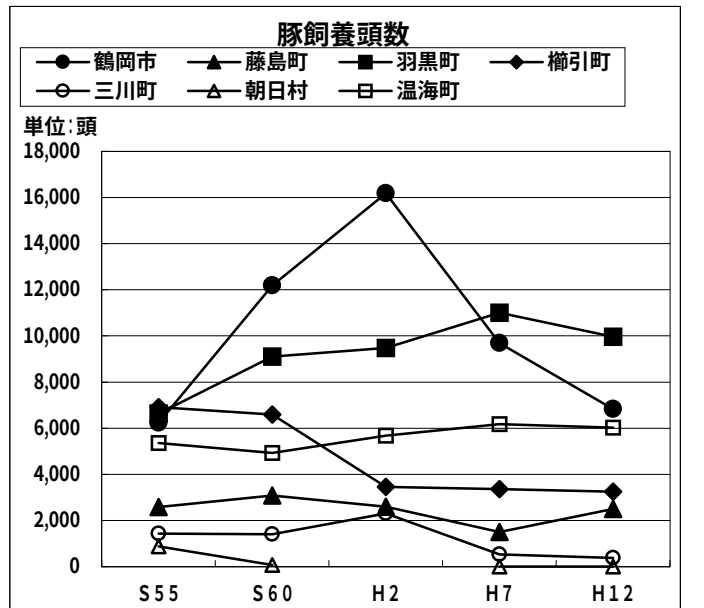
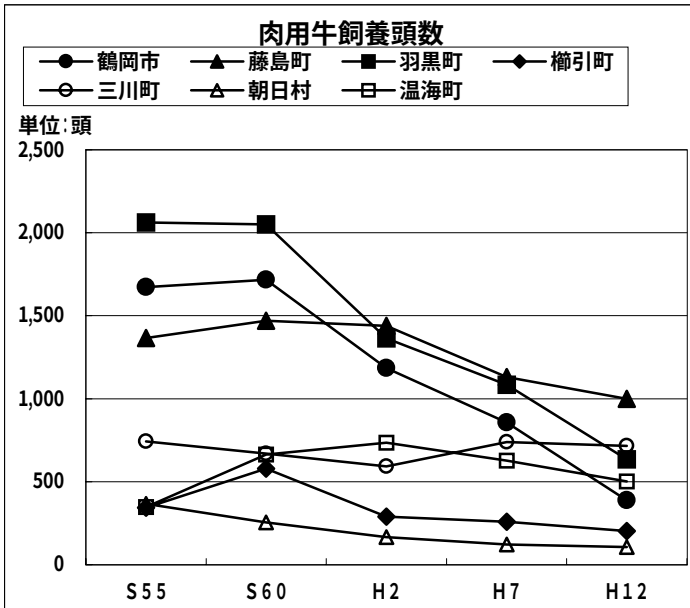
(単位: 頭)

	S55	S60	H2	H7	H12
鶴岡市	1,673	1,716	1,185	856	387
藤島町	1,365	1,470	1,440	1,131	1,000
羽黒町	2,063	2,050	1,364	1,085	634
櫛引町	343	579	289	258	202
三川町	743	669	593	738	716
朝日村	367	254	165	121	107
温海町	347	663	735	627	502
合計	6,901	7,401	5,771	4,816	3,548

(4) 豚飼養頭数

(単位: 頭)

	S55	S60	H2	H7	H12
鶴岡市	6,237	12,186	16,179	9,685	6,833
藤島町	2,581	3,079	2,593	1,498	2,493
羽黒町	6,627	9,102	9,479	11,008	9,961
櫛引町	6,907	6,590	3,455	3,353	3,250
三川町	1,431	1,404	2,309	528	374
朝日村	870	71		2	0
温海町	5,359	4,928	5,683	6,173	6,030
合計	30,012	37,360	39,698	32,247	28,941



[課題]

農作物の有機栽培等、付加価値をつけた農産物販売のため、さらなる畜産振興を図る必要がある。

庄内南部地区における農業の動向

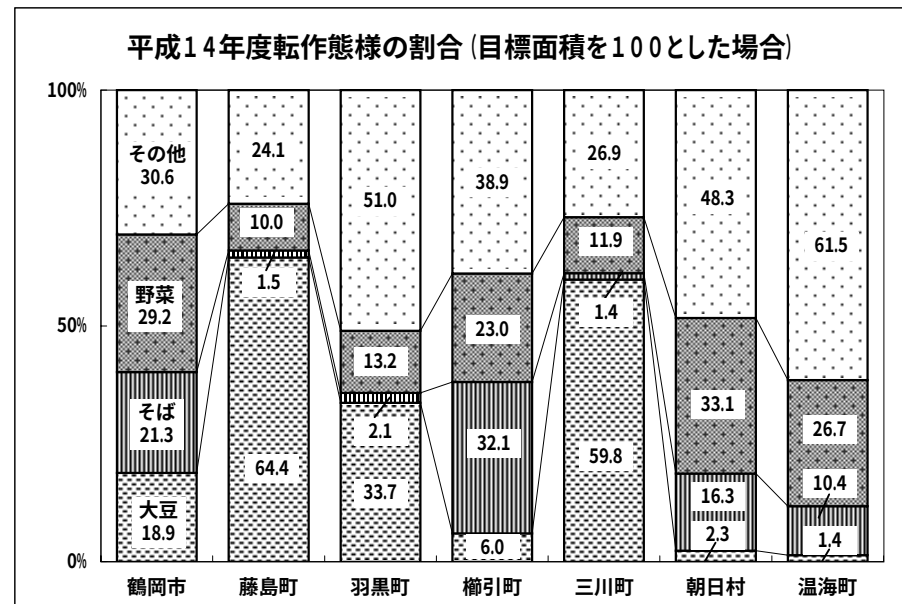
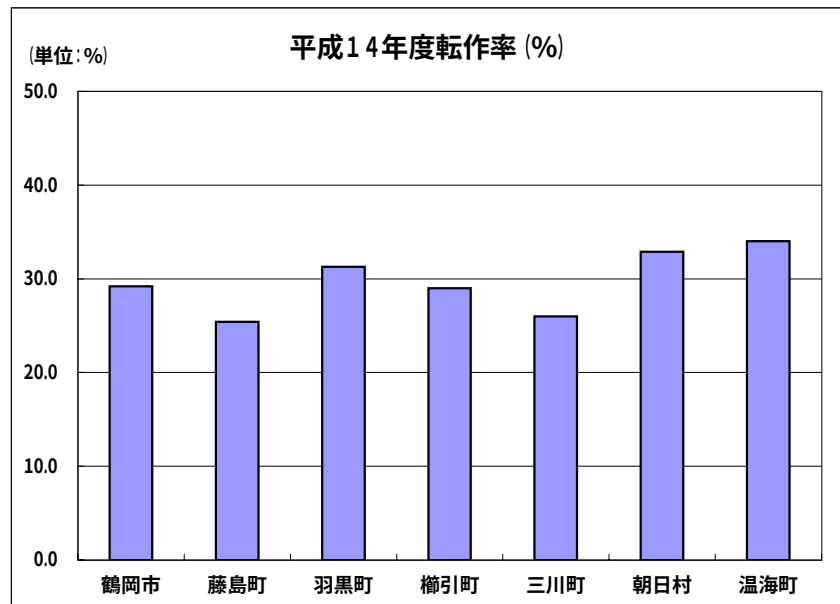
農林水産部会 農政分科会

8. 生産調整実施状況 (各市町村調査)

(単位: ha)

	平成10年度				平成11年度				平成12年度				平成13年度				平成14年度				
	目標 面積	転作の主な態様			目標 面積	転作の主な態様			目標 面積	転作の主な態様			目標 面積	転作の主な態様			目標 面積	転作 率(%)	転作の主な態様		
		大豆	そば	野菜等		大豆	そば	野菜等		大豆	そば	野菜等		大豆	そば	野菜等			大豆	そば	野菜等
鶴岡市	1,817	84	361	431	1,823	126	366	460	1,789	189	413	465	1,830	249	474	490	1,837	29.2	346	392	537
藤島町	778	185	9	78	766	207	13	83	722	326	13	93	862	479	20	95	864	25.4	557	13	86
羽黒町	803	20	4	101	778	30	8	118	715	48	18	147	870	180	17	160	864	31.3	291	18	114
櫛引町	486	12	127	99	475	10	135	107	440	11	124	108	502	17	183	114	504	29.0	30	162	116
三川町	543	245	1	45	542	249	1	49	523	274	4	58	570	326	7	61	572	26.0	342	8	68
朝日村	281	5	21	86	281	6	35	90	282	6	43	96	299	6	51	100	300	32.9	7	49	99
温海町	207	4	31	48	203	4	34	51	205	4	23	55	220	4	23	56	221	34.0	3	23	59
合計	4,915	555	554	888	4,868	632	592	958	4,676	858	638	1,022	5,153	1,261	775	1,076	5,162	—	1,576	665	1,079

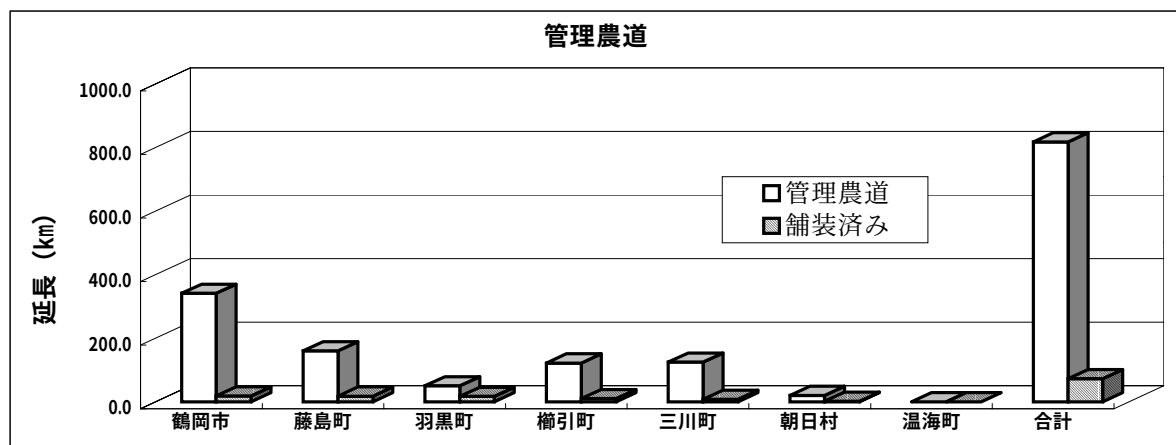
※ 目標面積は補正後の目標面積。
転作率とは、県の補正前の目標面積÷水田台帳面積×100。



1 管理農道と舗装化の状況

【現状】

- (1) ほ場整備率が庄内南部（7市町村）平均で85%以上を達成している現状で、現在各市町村が管理している延長が、ほぼその総量と考えられる。
- (2) 大部分は砂利敷きで、毎年管理費からその一部を舗装整備に充てているが、全体に占める舗装延長の割合は平均8.9%に止まっている。
- (3) 管理農道以外の「その他農道」（旧内務省農道、里道、認定道路以外）は、土地改良区等の管理外におかれ、実質的管理は、地元生産組合等の利用者等に委ねられているが、三川町、温海町を除く市町村は、予算の範囲内において、敷き砂利補修等に当たっている。



単位: km

	鶴岡市	藤島町	羽黒町	櫛引町	三川町	朝日村	温海町	合計
管理農道	341.3	160.0	50.3	121.6	124.6	20.0	0.0	817.8
舗装済み	18.1	17.8	16.9	10.2	7.7	2.0	0.0	72.7
舗装率	5.3%	11.1%	33.6%	8.4%	6.2%	10.0%	0.0%	8.9%
構成比	41.7%	19.6%	6.2%	14.9%	15.2%	2.4%	0.0%	100.0%
管理費 (千円/年)	48,593	23,790	3,497	18,145	17,282	2,583	0	113,890

(県土地改良事業団体連合会「農道台帳」平成15年3月現在)

※ **管理農道とは**(1)土地改良法上の事業により造成された(2)幅員4m以上のその起終点が公道に接続し(3)「農道台帳」により市町村が管理している農道をいい、その延長が地方交付税算定の対象となる。

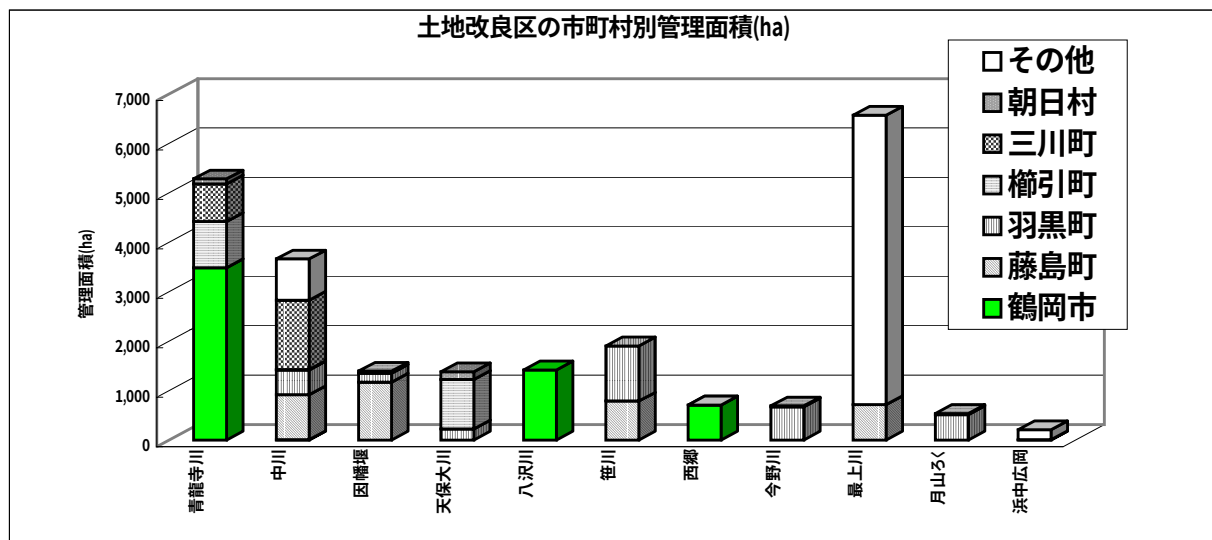
【課題】

- ・ 今後、農道の舗装要望が予測されますが、農道にも一般車両の通行が目立ち、交通事故等の発生がみられ、道路の維持修繕や農作業上の支障が伴い、これに対応するためのハード、ソフト両面での検討を要する。

2 関係土地改良区の状況と市町村別管理面積

【現状】

- (1) 庄内南部（温海町を除く）には11土地改良区の管理するほ場があります。（下表参照）
- (2) 各土地改良区は国営、及び、県営事業により造成された灌漑排水施設や農道等の維持管理を行いながら、農業用水の供給をおこなっているが、担い手への集積や耕作の受委託契約等による農家戸（耕作者）数の減少や畑地化の増加に伴い、組合員において水利費の負担増加がみられ、米価低迷のなか厳しい状況にある。
- (3) 近年、かつての国営事業で整備された、頭首工、分水ゲート、幹線水路等の老朽化が進み、更新事業等による施設改善事業が実施（予定）されているが、米価が低迷し所得が減少している中で、関係土地改良区による地元負担が厳しい状況にある。



単位:ha

	鶴岡市	藤島町	羽黒町	櫛引町	三川町	朝日村	その他	合計
青龍寺川	3,487			933	761	100		5,281
中川	5	914	500	7	1,401		834	3,661
因幡堰		1,173	178	41				1,391
天保大川			221	999		158		1,378
八沢川	1,415							1,415
笹川		786	1,115					1,901
西郷	705						1	706
今野川			672	16				688
最上川		713					5,856	6,569
月山ろく			514	19				533
浜中広岡	5				1		201	207
計	5,617	3,586	3,199	2,015	2,163	257	6,892	23,728

平成15年5月、土改区聞き取り

【課題】

- ・米価下落と減反政策による畑地化転換により水利費等の経常経費負担が農家にとって大きな負担となっている。

庄内南部地域の森林の概要

農林水産部会 林業分科会

1. 森林資源と民有林の蓄積の状況

【現状】

- ・ 庄内南部の森林は、地形的に東部は、月山を中心とする出羽山地、西部は、日本海に面している。また、南は朝日連峰が新潟県との県境をなしている。また、海岸部には遊佐吹浦から鶴岡市湯野浜までの長さ 33km、幅約 2km の庄内の先人が育てた日本有数の砂丘林がある。
- ・ 森林植生は、スギを中心にした人工林、ナラ類を中心とした天然林に大別され、月山山麓には、豊かなブナ林も広がっている。
- ・ 森林面積は、9 万 6 千 ha で 71%を占めており、民有林は約 4 万 5 千 ha、国有林 5 万 1 千 ha となっています。
- ・ 庄内地域の民有林は、地域森林の 47%を占める 4 万 5 千 ha となっている。このうち、スギを中心とした人工林の面積は、約 45%で、人工林率は県内で最上地方について高いものとなっている。

・各市町村の森林面積、林野率

市町村名	面積 (km ²)	森林面積 (ha)			林野率 (%)	民有林	
		国有林	民有林	計		人工林面積 (ha)	人工林率 (%)
鶴岡市	234	511	9,753	10,264	43.9	5,944	60.9
藤島町	63	387	697	1,084	17.1	447	64.1
羽黒町	110	2,133	2,531	4,664	42.6	1,184	46.8
櫛引町	80	1,704	2,143	3,847	48.0	1,165	54.4
三川町	33	—	—	—	—	—	—
朝日村	569	39,466	13,844	53,310	93.7	3,515	25.4
温海町	255	6,623	16,194	22,817	89.3	8,151	50.3
計	1,344	50,824	45,162	95,986	71.4	20,406	45.2

※民有林：公有林、私有林、公社造林地、緑資源公団造林地の総称。

※三川町の町有林は新潟県山北町にあるため山形県の統計には含まれていない。

資料：面積は、平成 11 年全国都道府県市区町村別面積調（建設省国土地理院 総務庁統計局）

森林面積及び民有林人工林面積は、山形県林業統計（H13）

・民有林の蓄積

単位：m³

市町村名	森林蓄積	人工林の蓄積					天然林
		計	割合	針葉樹	広葉樹	ha 当り蓄積	
鶴岡市	1,899,835	1,493,170	79%	1,491,016	2,081	251	406,665
藤島町	113,545	83,436	73%	83,348	88	187	30,109
羽黒町	416,114	318,016	76%	317,498	499	269	98,098
櫛引町	356,105	223,278	63%	222,457	181	192	132,827
三川町	—	—	—	—	—	—	—
朝日村	2,112,763	837,839	40%	833,185	4,640	238	1,274,924
温海町	3,474,712	2,400,031	69%	2,392,183	5,083	294	1,074,681
合計	8,373,074	5,355,770	64%	5,339,687	12,572	262	3,017,304

※割合とは総蓄積に占める人工林の蓄積の割合。

資料：山形県林業統計（H13）

・民有林齢級別面積

単位：ha

市町村名	1～3 齢級	4～10 齢級 (間伐対象森林)	11 齢級以上	合 計
鶴岡市	326	4,415	1,221	5,962
藤島町	2	379	66	447
羽黒町	33	806	347	1,186
櫛引町	80	908	157	1,145
三川町	—	—	—	—
朝日村	185	2,348	972	3,505
温海町	217	5,693	2,258	8,168
合計	843	14,549	5,021	20,413

資料：市町村森林整備計画（H15～24）

【課題】

- ・人工林のうち間伐の対象となる面積は、1 万 5 千 ha と人工林の 7 割以上を占めている。このうち緊急に間伐を必要とする林分が大半を占めていることから、間伐と間伐材の利活用を推進する必要がある。
- ・11 齢級以上の伐期に達している高齢級の森林面積は、5 千 ha と人工林の 25%を占めている。森林資源の循環利用を図るため、この林分の伐採、利用を促進し、植栽により更新を図る必要がある。

2. 林業経営の状況

【現状】

- ・ 民有林林業の主体である林家（保有面積 1 ha 以上）は、3,156 戸で、平成 2 年と比較すると約 47% まで減少している。又、林業就業者数は 136 人となっており、平成 2 年と比較すると約 58% まで激減している。
- ・ 雇用形態は、一時的に集中する作業の特殊性などから短期雇用が多く、約 82% が 30 日未満の雇用形態となっており、林業生産活動が停滞していることがうかがわれる。木材価格が長期低迷している中で、育林費、伐採・搬出などの経営コストの増大等により就業者数は、年々減少している。
- ・ 地域の森林の担い手である森林組合の作業班の約 5 割が 60 歳以上であるなど、森林組合の労働力も減少し、高齢化が進んでいる。
- ・ スギ、松等の山元の立木価格が、昭和 55 年をピークに約 1 / 3 まで低下している。

・林家数の推移

単位：世帯

市町村名	H2	H12
鶴岡市	2,448	964
藤島町	349	111
羽黒町	439	92
櫛引町	764	310
三川町	65	8
朝日村	1,080	902
温海町	1,500	769
計	6,645	3,156

※林家：保有山林面積が 1ha 以上の世帯。
資料：世界農林業センサス

・林業就業者の推移

単位：人

市町村名	H2	H7	H12
鶴岡市	94	62	43
藤島町	2	3	4
羽黒町	15	16	15
櫛引町	9	13	17
三川町	—	—	1
朝日村	56	20	30
温海町	57	27	26
計	233	141	136

資料：国勢調査

・森林組合作業班員等の推移

単位：人

	年度	合計	年齢層				
			20 歳未満	20～39	40～49	50～59	60～
出羽庄内森林組合 (鶴岡市 外 5 町村)	9	178	—	15	12	48	103
	12	143	3	8	12	37	83
	13	126	4	6	8	28	80
	14	72	3	2	9	24	34
温海森林組合 (温海町)	9	28	—	—	5	9	14
	12	20	—	2	3	6	9
	13	20	—	2	1	7	10
	14	20	—	2	2	6	10

資料：出羽庄内森林組合・温海森林組合より聞き取り

・林業従事日数別世帯員数

(単位:人、%)

	1990年			2000年		
	合 計	内30日末 満の人数	内30日末 満の割合	合 計	内30日末 満の人数	内30日末 満の割合
鶴岡市	786	639	81.3	222	162	73.0
藤島町	79	73	92.4	5	5	100.0
羽黒町	163	150	92.0	19	17	89.5
櫛引町	166	134	80.7	21	18	85.7
三川町	10	10	100.0	0	0	—
朝日村	737	639	86.7	388	349	89.9
温海町	1,162	901	77.5	236	186	78.8
計	3,103	2,546	82.0	891	737	82.7

資料：1990年及び2000年農林業センサス

・民有林素材生産量

単位:m³

年度	H9				H11				H12			
	材積計	うち 針葉樹	針葉樹 主伐	針葉樹 間伐	材積計	うち 針葉樹	針葉樹 主伐	針葉樹 間伐	材積計	うち 針葉樹	針葉樹 主伐	針葉樹 間伐
鶴岡市	7,510	7,190	7,190	0	3,930	2,794	2,749	0	7,165	5,325	5,325	0
藤島町	430	430	430	0	90	90	90	0	842	842	842	0
羽黒町	2,000	2,000	2,000	0	3,615	3,615	3,256	359	3,994	3,868	3,868	0
櫛引町	3,980	1,780	1,210	570	3,650	1,652	1,652	0	1,407	1,375	1,375	0
三川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
朝日村	6,570	5,980	5,980	0	7,090	5,811	5,768	0	7,380	2,742	2,681	0
温海町	17,070	11,770	11,580	190	20,290	16,399	15,717	682	7,561	7,561	6,769	792
合 計	37,560	29,150	28,390	760	38,665	30,361	29,232	1,041	28,349	21,713	20,860	792

資料：山形県木材統計

・山元価格、丸太価格、製材品価格の推移

単位:円/m³

	山元立木価格			丸太価格			製材品価格		
	スギ	ヒノキ	マツ	スギ中丸太 径 14~22 cm 長 3.65~4.0m	ヒノキ中丸太 径 14~22 cm 長 3.65~4.0m	米ツガ丸太 径 30 cm 上 長 6.0m 上	スギ正角 厚 10.5 cm 幅 10.5 cm 長 3.0m	ヒノキ正角 厚 10.5 cm 幅 10.5 cm 長 3.0m	米ツガ正角 厚 10.5 cm 幅 10.5 cm 長 3.0m
昭和 30 年	4,478	5,046	2,976	8,200	9,300	—	13,700	20,100	—
31	5,232	5,879	3,454	8,500	9,900	—	14,200	20,200	—
32	6,260	6,878	4,187	9,700	13,300	—	16,200	22,600	—
33	6,501	7,256	4,255	9,600	12,400	—	15,600	23,200	—
34	6,702	7,435	4,312	9,900	11,700	—	16,300	23,900	—
35	7,148	7,996	4,600	11,000	12,000	—	17,300	25,500	—
36	9,081	10,393	5,948	14,300	15,900	—	22,400	34,200	—
37	9,707	10,864	6,336	13,800	16,900	—	21,800	34,000	—
38	9,732	11,000	6,170	14,000	16,100	—	22,700	35,800	—
39	9,653	10,839	6,048	14,000	16,700	—	21,700	35,300	—
40	9,380	10,645	5,734	14,000	18,000	12,500	22,200	34,300	—
41	9,757	11,284	5,915	15,300	22,400	12,500	24,100	41,300	—
42	11,432	14,305	7,001	18,200	29,800	13,300	28,100	53,700	—
43	12,879	17,420	7,738	19,300	32,900	14,000	33,200	64,200	—
44	13,375	19,494	7,827	18,600	37,600	14,500	34,200	72,000	—
45	13,168	21,352	7,677	18,400	37,600	14,300	34,400	77,300	—
46	12,040	19,772	7,022	17,100	32,800	14,600	32,300	67,800	—
47	11,914	19,661	6,910	19,100	35,500	16,000	41,900	80,100	—
48	16,574	28,137	9,499	27,900	54,500	25,400	60,800	117,400	45,300
49	19,625	34,163	11,754	32,100	65,300	25,300	59,900	119,800	39,900
50	19,726	35,894	10,899	31,000	66,200	24,000	59,300	118,500	37,900
51	19,580	36,718	10,647	31,200	66,500	25,500	62,200	129,100	45,100
52	19,631	36,573	10,580	30,500	62,100	25,300	59,100	118,500	44,700
53	18,642	34,566	9,821	29,400	59,600	23,000	55,900	110,400	41,000
54	19,087	36,576	9,602	34,700	70,500	29,500	68,900	137,700	54,700
55	22,707	42,947	11,162	38,700	76,400	33,900	70,500	141,500	57,500
56	20,214	39,977	9,850	32,600	68,400	28,800	56,700	117,200	48,200
57	18,366	37,501	9,091	30,200	65,500	29,100	56,500	111,400	50,200
58	17,076	35,461	8,787	27,400	59,700	25,900	53,400	99,800	46,700
59	16,347	33,068	8,568	25,800	55,800	24,800	51,500	89,300	44,700
60	15,156	30,991	7,920	24,900	54,000	24,600	51,200	88,400	45,400
61	14,144	29,738	7,432	23,500	53,400	20,400	49,400	89,100	41,400
62	13,623	29,627	7,028	24,300	60,500	20,700	56,800	120,400	45,500
63	14,071	31,897	7,258	24,000	62,300	21,600	54,100	114,100	45,900
平成元年	14,282	32,384	7,266	25,300	66,000	23,700	57,500	115,300	51,100
2	14,595	33,607	7,528	26,000	67,800	25,600	59,800	115,900	55,100
3	14,206	33,153	7,476	25,000	65,700	24,400	58,600	111,800	53,800
4	13,060	30,314	6,880	22,700	59,100	24,400	58,500	106,500	53,600
5	12,874	30,102	6,676	23,400	59,100	27,200	63,200	107,400	60,200
6	12,402	29,172	6,356	22,400	58,000	26,900	61,600	107,700	59,100
7	11,730	27,607	5,966	21,700	53,500	25,800	56,800	100,600	56,400
8	10,810	25,469	5,501	22,400	53,900	26,500	57,500	102,800	55,200
9	10,313	24,603	5,220	21,100	49,200	26,300	58,200	102,200	57,500
10	9,191	21,436	4,405	18,900	43,200	24,800	47,500	75,600	52,100
11	8,191	19,840	4,270	18,800	42,500	23,600	48,300	75,600	50,600
12	7,794	19,297	4,168	17,200	40,300	22,200	47,400	75,700	49,500

資料: (財) 日本不動産研究所「山林素地及び山元立木価格調」、農林水産省「木材需給報告書」

※ 山元立木価格は、利用材積 1m³ 当り価格 (各年 3 月末現在)。

※ 丸太価格は、各工場における工場着購入価格。

※ 製材品価格は、小売業者への店頭渡し販売価格。

・製材工場における製材用素材入荷量

単位:100m³

年度	H11			H12			H13		
市町村名	入荷量計	うち 国産材	うち 外材	入荷量計	うち 国産材	うち 外材	入荷量計	うち 国産材	うち 外材
鶴岡市	185	100	85	182	95	88	148	82	66
藤島町	31	20	11	26	21	5	24	19	5
羽黒町	—	—	—	—	—	—	5	5	—
櫛引町	—	—	—	—	—	—	13	12	1
三川町	—	—	—	—	—	—	13	13	—
朝日村	132	32	100	63	27	36	63	30	33
温海町	75	66	9	52	48	4	26	23	3
合 計	423	218	205	323	191	133	292	184	108

資料:山形県木材統計

【課題】

- ・地域の森林の担い手である森林組合の経営基盤強化、地域林業の中核的担い手の育成が大きな課題となっている。
- ・住宅産業は、「住宅の品質確保の促進に関する法律」の制定により乾燥材の需要が高まっている。品質、性能が安定した地域材の供給を進め、地域材のブランド化を図り、特に地元の需要に対し、地場産の木材を利用してもらうことを推進する。(地産地消)
- ・木材価格が低迷している中、伐採、搬出など経費節減を図る他、角材、板材等使用効率を高める方策を検討する。
- ・地域材を循環利用するため、地域材を利用した住宅の促進を図るとともに、地域材を利用した住宅の意義、効用について消費者の理解を促進し、「庄内の森林から始まる家づくりネットワーク」、パンフレット、ウッドフェスティバル等を通じてPRに努める。

3. 特 用 林 産 物

【現状】

- ・ 特用林産物の生産量は、年々減少の傾向にあり、平成 13 年度では全体で 863 t である。占める割合が高いものは、「なめこ 33.6%」、「生しいたけ 20.3%」、「やまぶどう 20.3%」となっている。特用林産物の生産は、女性及び高齢者の就労の場及び林家の副収入源として重要な役割を担っている。

・主な特用林産物の生産量

単位：t

年度	品目	鶴岡市	藤島町	羽黒町	櫛引町	三川町	朝日村	温海町	合 計
H6	なめこ	210.0	0.0	24.4	29.5	3.0	8.0	149.7	424.6
	生しいたけ	19.8	9.1	23.0	5.4	45.9	1.9	32.4	137.5
	ひらたけ	196.0	0.0	0.0	16.3	40.0	0.0	0.0	252.3
	孟宗	87.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.0	102.0
	みず	7.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	8.5
	こごみ	3.0	4.0	5.0	0.0	0.0	4.0	1.5	17.5
	やまぶどう	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	140.0	0.0	140.0
H11	なめこ	219.0	0.0	0.0	14.1	0.0	7.1	148.8	389.0
	生しいたけ	13.3	26.5	10.3	4.1	55.8	2.2	53.2	165.4
	ひらたけ	139.8	2.8	0.0	30.7	20.0	0.0	0.0	193.3
	孟宗	126.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	126.2
	みず	7.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	9.8
	こごみ	7.2	1.5	7.1	0.0	0.0	2.9	1.5	20.2
	やまぶどう	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	125.0	0.0	125.0
H12	なめこ	223.3	0.0	0.0	12.7	0.0	7.2	95.5	338.7
	生しいたけ	14.5	30.2	8.3	3.6	47.2	1.4	54.2	159.4
	ひらたけ	115.0	2.8	0.0	26.2	9.1	0.0	0.0	153.1
	孟宗	81.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.0	93.9
	みず	7.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3	10.1
	こごみ	7.9	1.9	7.1	0.0	0.0	2.8	1.5	21.2
	やまぶどう	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	129.0	0.0	129.0
H13	なめこ	197.9	0.0	0.0	14.3	0.0	5.6	72.0	289.8
	生しいたけ	12.5	38.7	7.7	5.0	49.9	1.2	60.3	175.3
	ひらたけ	70.7	2.0	0.0	17.5	4.2	0.0	0.0	94.4
	孟宗	89.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	99.1
	みず	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	2.0	8.8
	こごみ	5.0	2.6	5.5	0.0	0.0	5.2	1.5	19.8
	やまぶどう	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	174.7	0.0	174.7

資料：山形県林業統計、特用林産物需給動態調査

【課題】

- ・ 年々増加している輸入物に対抗するため、品質の向上及び生産コストの更なる低減を図り、地域ブランド化を推進する必要がある。

4. 林道整備と管理

【現状】

- ・各市町村の林道の整備状況は下記のとおりであり、一部は舗装化になっており、地域の生活道路として利用されている。
- ・各市町村の林道密度の平均は、6.15m/ha であり、県全体の林道密度より上回っているものの、庄内地区の林道整備目標である 12.26m/ha には達していない。

・市町村別林道現況延長

市町村名	林 道 現 況						民有林 面 積 (ha)	林道密度 (m/h)
	自動車道		軽自動車道		計			
	路線数	延長 (m)	路線数	延長 (m)	路線数	延長 (m)		
鶴岡市	37	65,836	25	18,817	62	84,653	9,753	6.75
藤島町	5	11,643	—	—	5	11,643	697	16.70
羽黒町	5	13,584	—	—	5	13,584	2,531	5.37
櫛引町	14	21,036	—	—	14	21,036	2,143	9.82
三川町	—	—	—	—	—	—	—	—
朝日村	33	74,209	—	—	33	74,209	13,844	5.36
温海町	53	91,550	1	1,531	54	93,081	16,194	5.65
計	147	277,858	26	20,348	173	298,206	45,162	6.15

※自動車道：幅員 3.0m 以上の林道

※軽自動車道：幅員 3.0m 未満の林道

資料：山形県林業統計（平成11年3月末現在）

【課題】

- ・林道は、効率的な林業経営の展開や森林の適正な維持管理にとって必要不可欠な施設であり、又、森林の総合利用の推進、山村の生活環境の整備、地域産業の振興にとって重要な役割を果たしていることから、林道の整備促進を図ることが必要である。
- ・林道の適正な維持管理を行なうため、林道台帳の整備と管理条例等の法的整備を行なう必要がある。

5. 森林の多様な機能の保全状況

【現状】

- ・森林の公益的機能の発揮が特に期待される森林については保安林に指定されている。
- ・松林は、木材生産機能はもとより砂丘林のように潮風、飛砂から守るなど生活環境保全の機能も有しています。昭和53年度から発生した松くい虫被害は、平成6年度をピークに減少傾向にあったものの、平成14年度2,665 となり、平成13年度と比較し1.25倍と再び増加している。
- ・平成3年頃から発生しているミズナラを主とした集団枯損の被害が、近年急速に拡大している。特に広葉樹林の多い朝日村では被害が年を追って拡大しており、近年、被害は庄内地方全域に拡大しつつある。平成14年度の被害は27,583本と平成13年度と比較し約2倍と激増している。

・松くい虫被害の推移

単位: m³

市町村名	元年	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14
鶴岡市	1,309	2,500	1,408	2,549	1,947	5,000	4,750	3,000	2,800	1,758	1,928	1,939	1,554	1,858
藤島町				10	69	150	120	130	100	57	59	46	97	167
羽黒町				68	301	670	450	470	560	462	398	293	310	447
櫛引町		2	1	2	58			40	40	10	17	10	10	10
三川町														
朝日村														
温海町	534	492	674	1,367	508	1,050	400	440	400	401	252	174	161	183
合 計	1,843	2,994	2,083	3,996	2,883	6,870	5,720	4,080	3,900	2,688	2,654	2,462	2,132	2,665

資料: 山形県松くい虫被害対策推進連絡推進協議会資料(県森林課調べ)

・ナラ枯れ被害発生状況推移

単位: 本

市町村名	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14
鶴岡市					7	1	6	58	339	720	2,315	4,741
藤島町						9			18	380	555	1,185
羽黒町										30	39	418
櫛引町					41	78	204	241	367	820	1,607	2,585
三川町					5	3		30	164	90	226	537
朝日村	600	750	4,651	2,632	5,045	547	830	2,649	6,460	8,160	8,256	17,497
温海町											86	620
合 計	600	750	4,651	2,632	5,098	638	1,040	2,978	7,348	10,200	13,084	27,583

資料: 平成14年度ナラ枯れ被害対策会議資料より

・保安林の面積

単位: ha

市町村名		計	合計
鶴岡市	国有林	426	1,595
	民有林	1,169	
藤島町	国有林	78	78
	民有林	—	
羽黒町	国有林	1,550	2,225
	民有林	675	
櫛引町	国有林	498	859
	民有林	361	
三川町	国有林	—	—
	民有林	—	
朝日村	国有林	32,945	37,404
	民有林	4,459	
温海町	国有林	305	2,896
	民有林	2,591	
合計	国有林	35,802	45,057
	民有林	9,255	

資料: 山形県林業統計 (H13)

【課題】

- ・ 水源のかん養、災害の防備、環境の保全等の、森林の有する公益的機能を確保することを目的とし、保安林の保全を計画的に進める必要がある。
- ・ 健全な松林の維持のため、衛生伐、被害防止技術の普及・開発の推進、地域の主体的な防除体制の整備への支援を含めて総合的な被害対策が求められる。
- ・ ナラ枯れ被害木は急傾斜なところにあり、伐倒、玉切り作業は非常に危険であり、薬剤防除による対応しかない。水源林等を控える地域での多量の薬剤使用等の課題もあり、被害原因究明と並行して更なる防除技術の改良が求められる。
- ・ 住民参加の森林づくりを推進し、地域住民から森林林業の重要性を認識してもらう方策も必要である。

庄内南部地区の現状

農林水産部会 水産分科会

1 漁業経営体数（うち個人経営体数）の状況

漁業経営体：海面において利潤又は生活の資を得るため、販売を目的として、水産動植物の採捕又は養殖の事業を行った経営体をいう。ただし、1年間の漁業出漁日数29日以下の個人経営体を除く。

【現状】

- ・経営体数は15年間で約4分の3に減少しており、減少傾向が続いている。
- ・鶴岡市では、共同経営が平成5年の1経営体から平成10年には7経営体に増えている。

表1 漁業経営体数

単位：経営体（個人経営体）

	昭和58年	昭和63年	平成5年	平成10年
鶴岡市	200 (189)	170 (163)	172 (167)	151 (138)
温海町	161 (159)	164 (159)	154 (148)	121 (114)
合 計	361 (348)	334 (322)	326 (315)	272 (252)
全 県	730 (705)	661 (638)	628 (610)	548 (523)

（資料：平成10年山形県漁業の動き、 鶴岡市の漁業―第10次漁業センサス結果報告書―）

2 漁業就業者数の状況

漁業就業者：漁業世帯の世帯員のうち、満15歳以上で過去1年間に、自営漁業又は漁業雇われの海上作業に30日以上従事した者。

【現状】

- ・就業者数は15年間で約半分に減っているが、これは県全体でも同じ傾向にある。（表2）
- ・鶴岡市と温海町では、温海町の減少率が鶴岡市に比べ低くなっている。（表2）
- ・40歳以下の若年就業者は15年間で約4分の1に減っているが、減少傾向に歯止めがかかり、この5年間では僅かではあるが、増えている。（表3）
- ・県全体と比べ若年就業者の割合は、若干高い。（表3）
- ・60歳以上の就業者数の割合は徐々に増加し、全就業者の半数以上となっており、高齢化がうかがえる。特に鶴岡市ではこの15年間で19.3%から52.6%に急増している。（表4）
- ・県全体に比べ高齢就業者の割合は、若干高い。（表4）

表2 漁業就業者数

単位：人

	昭和58年	昭和63年	平成5年	平成10年
鶴岡市	664	467	328	304
温海町	274	238	209	177
合 計	938	705	537	481
全 県	1,751	1,326	1,010	897

（資料：平成10年山形県漁業の動き、 鶴岡市の漁業―第10次漁業センサス結果報告書―）

表3 40歳以下の漁業就業者数及び全集業者に占める割合 単位：人（％）

	昭和58年	昭和63年	平成5年	平成10年
鶴岡市	186（28.0）	91（19.5）	31（9.5）	35（11.5）
温海町	52（20.0）	35（14.7）	22（10.5）	27（15.3）
合 計	238（25.4）	126（17.9）	53（9.9）	62（12.9）
全 県	445（25.4）	257（19.4）	101（10.0）	94（10.5）

（資料：平成10年山形県漁業の動き、 鶴岡市の漁業―第10次漁業センサス結果報告書―）

表4 60歳以上の漁業就業者数及び全集業者に占める割合 単位：人（％）

	昭和58年	昭和63年	平成5年	平成10年
鶴岡市	128（19.3）	121（25.9）	141（43.0）	160（52.6）
温海町	86（31.3）	96（40.3）	112（53.6）	100（56.5）
合 計	214（22.8）	217（30.8）	253（47.1）	260（54.1）
全 県	342（19.5）	376（28.4）	422（41.8）	454（50.6）

（資料：平成10年山形県漁業の動き、 鶴岡市の漁業―第10次漁業センサス結果報告書―）

【課題】

- ・底曳き網漁業の後継者はある程度若返っているが、個人経営漁業者は高齢化が進んでおり、後継者への移行が進まない。
- ・若者が就業したくなるような漁業経営のあり方を検討することが重要である。
- ・今後も高齢化は続くと見られるので、積極的な後継者育成が急務である。

3 漁船総艘数の状況

【現状】

- ・15年間に約4分の3に減少しており、これは経営体数の減少割合とほぼ同じとなっている。（表5）
- ・数は減少しているが、その割合は漁業就業者の減少割合と比べ小さい。これは、磯見漁などごく沿岸での漁業の割合が高くなっているのがうかがえる。（表6）

表5 漁船総艘数 単位：艘

	昭和58年	昭和63年	平成5年	平成10年
鶴岡市	232	210	196	162
温海町	187	208	190	145
合 計	419	418	386	307
全 県	951	917	788	687

（資料：平成10年山形県漁業の動き、 鶴岡市の漁業―第10次漁業センサス結果報告書―）

表6 船外機付船の艘数と総艘数に占める割合

単位：艘（％）

	昭和58年	昭和63年	平成5年	平成10年
鶴岡市	98 (42.4)	87 (41.4)	86 (43.9)	65 (40.1)
温海町	65 (34.8)	96 (46.2)	97 (51.1)	76 (52.4)
合 計	163 (38.9)	183 (43.8)	183 (47.4)	141 (45.9)
全 県	234 (24.6)	266 (29.0)	236 (29.9)	207 (30.1)

(資料：平成10年山形県漁業の動き、 鶴岡市の漁業―第10次漁業センサス結果報告書―)

【課題】

- ・特に一人乗り漁業の船が減っていることが総隻数の減になっている。漁業後継者が不足している今、若者が夢と希望もてる魅力ある漁業環境づくりが必要である。
- ・底曳き網漁業などからの退船や失業者の海への転職などで今後もこのような磯見漁への移行が続くと思われるので、磯焼け対策など沿岸漁場環境の保全が求められている。

4 漁獲量の状況

【現状】

- ・平成5年度から11年度の漁獲量は、年毎の変動はあるが、大きな傾向を見ることはできない。(表7)
- ・全県における主な魚種別の漁獲量を見ると、イカ類の漁獲量が減少し、サケ・マス類、ハタハタは増えている。(表8)

表7 年間漁獲量

単位：t

	平成5年	平成6年	平成7年	平成8年	平成9年	平成10年	平成11年
鶴岡市	2,430	1,927	2,066	2,169	2,484	1,705	1,947
温海町	1,880	1,655	1,789	1,861	1,557	1,316	1,542
合 計	4,310	3,582	3,855	4,030	4,041	3,021	3,489
全 県	10,361	9,109	11,176	12,308	9,773	7,819	10,567

(資料：漁種別漁獲年報一覧表―県漁協由良統括支所―)

表8 全県における主な魚種別漁獲量

単位：t

	平成5年	平成6年	平成7年	平成8年	平成9年	平成10年
サケ・マス類	202	299	309	277	212	296
ヒラメ・カレイ	349	346	328	319	307	267
タラ類	873	828	833	1,005	795	668
ハタハタ	44	51	62	50	117	180
タイ類	256	230	227	278	287	236
イカ類	4,184	4,007	2,891	4,121	4,634	2,773

(資料：平成10年 山形県漁業の動き)

【課題】

- ・一定の漁獲量を確保するため、資源管理型漁業や作り育てる漁業の推進が必要である。

5 漁獲金額の状況

【現状】

- ・平成5年度から11年度の漁獲金額は、減少傾向にある。特に鶴岡市の減少傾向が大きい。

表9 年間漁獲金額

単位：百万円

	平成5年	平成6年	平成7年	平成8年	平成9年	平成10年	平成11年
鶴岡市	1,117	992	940	935	946	765	759
温海町	972	966	906	1,027	959	932	898
合 計	2,089	1,958	1,846	1,962	1,905	1,697	1,657
全 県	4,300	4,308	3,975	4,048	3,588	3,570	3,776

(資料：漁種別漁獲年報一覧表 県漁協由良統括支所→)

【課題】

- ・輸入水産物の増加により魚価が低迷している現状であり、地元でとれた安全で品質のよい水産物を提供できる販路ルートや、県外への販売拡大へ積極的な取組が必要である。

6 1 経営体平均漁獲金額

【現状】

- ・平均漁獲金額は、年毎の変動はあるが大きな傾向は見られない。(漁獲金額は、減少傾向にあるが、経営体数も減っている)
- ・県全体と比べ、平均漁獲金額は多い。

表10 平均年間漁獲金額

単位：千円

	昭和58年	昭和63年	平成5年	平成10年
鶴岡市	10,770	7,830	6,550	7,650
温海町	6,160	5,300	5,480	7,300
合 計	8,710	6,590	6,040	7,490
全 県	8,190	6,250	5,400	6,120

(資料：平成10年山形県漁業の動き、鶴岡市の漁業―第10次漁業センサス結果報告書→)

【課題】

- ・各魚種が総じて魚価安や総水揚げ高も低下している中で、少しでも魚価の向上につながる品質管理に努める必要がある。

7 放流事業の状況

【現状】

- ・各魚種ともに放流量の減少傾向が見られる。

表 11 魚種別放流量

	アワビ (千個)			クルマエビ (千尾)			ヒラメ (千尾)		
	平成8年	平成10年	平成12年	平成8年	平成10年	平成12年	平成8年	平成10年	平成12年
鶴岡市	106.5	61.7	126.0	304.2	202.0	188.5	65.3	57.7	55.3
温海町	200.6	174.0	142.0	0	190.0	199.6	56.9	54.8	54.6
合 計	307.1	235.7	268.0	304.2	392.0	388.1	122.2	112.5	109.9
全 県	429.6	338.7	292.5	668.9	799.0	677.4	233.8	208.1	213.3

(資料：山形県の水産―山形県―)

【課題】

- ・就業者の高齢化などにより、沿岸での漁業が主流となっているなかで、漁獲量、漁獲金額が減少傾向にある現状では、放流事業にかかる期待は大きく、放流量の十分な確保と高価で販売できる新たな放流魚種とその栽培技術の開発が求められている。

1. 認定農業者数の状況

[現状]

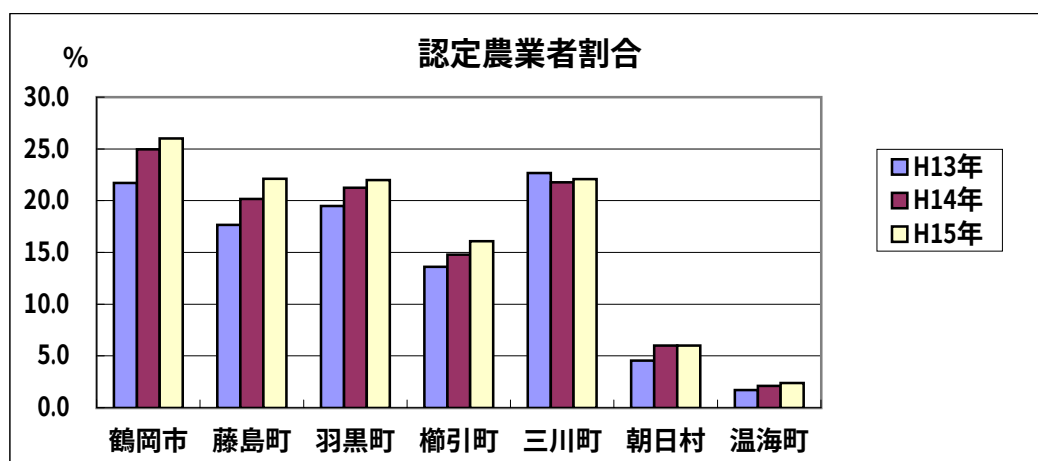
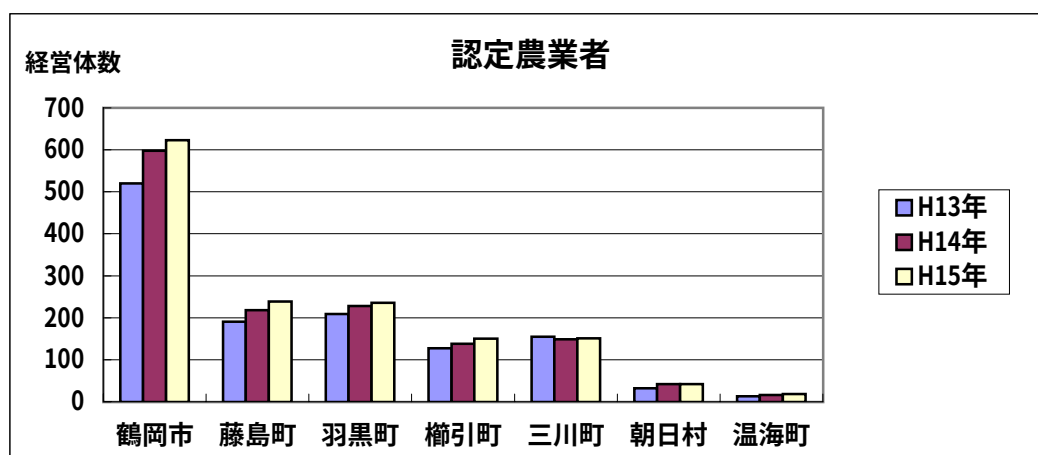
- ・認定農業者は年々増加している。
- ・7市町村における認定農業者数は、H15年3月31日現在、1459経営体で、H12年センサスにおける農業者数の19.1%となっている。
- ・市町村によりH12年センサス農家数に対する認定農業者の割合に大きな差が見られる。

単位：経営体

	H12センサス	H13年3月31日		H14年3月31日		H15年3月31日	
	農家数	認定農業者数	%	認定農業者数	%	認定農業者数	%
鶴岡市	2,396	520	21.7	598	25.0	623	26.0
藤島町	1,081	191	17.7	218	20.2	239	22.1
羽黒町	1,073	209	19.5	228	21.3	236	22.0
櫛引町	933	127	13.6	138	14.8	150	16.1
三川町	684	155	22.7	149	21.8	151	22.1
朝日村	701	32	4.6	42	6.0	42	6.0
温海町	760	13	1.7	16	2.1	18	2.4
計	7,628	1,247	16.4	1,389	18.2	1,459	19.1

注) %はH12年センサス農家に対する認定農業者の割合

認定農業者とは、安定的な農業経営をめざす意欲ある者で、5年後の経営改善計画を作成し、その計画が各市町村の基本構想に基づき認定を受けた者です。



２．農業委員数の状況

[現状] 現農業委員数は公選現委員101名、選任委員28名、計129名である。

(単位：人)

市町村名	公選委員定数	公選現委員数	選任委員数	現委員数計	内女性委員数
鶴岡市	22	22	5	27	2
藤島町	13	13	4	17	1
羽黒町	16	16	5	21	2
櫛引町	15	14	3	17	1
三川町	15	13	3	16	1
朝日村	13	13	3	16	0
温海町	10	10	5	15	1
計	104	101	28	129	8

注) 農業委員数は平成15年3月31日現在である。

3. 農地移動の状況

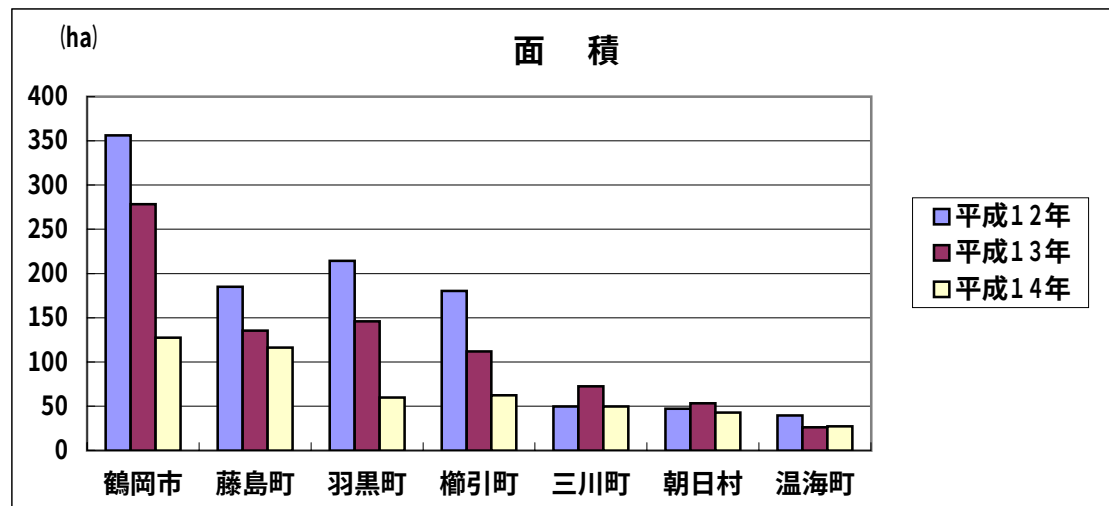
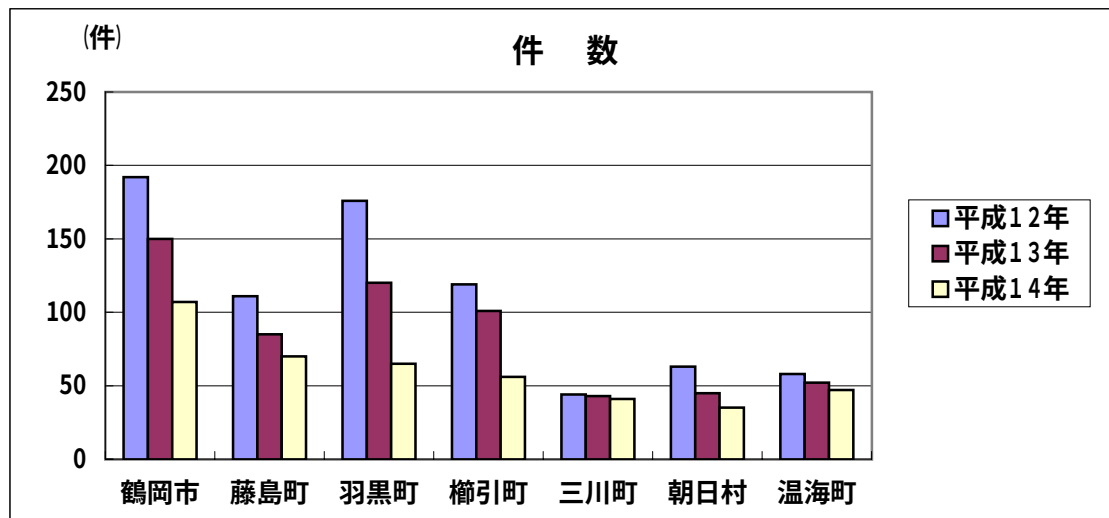
① 農地法に基づく取扱い

(イ) 3条 (農用地等の権利設定又は移転する場合)

[現状] 件数・面積ともに、減少傾向にある。

単位：ha

	平成12年		平成13年		平成14年	
	件数	面積	件数	面積	件数	面積
鶴岡市	192	356.3	150	278.5	107	127.3
藤島町	111	184.9	85	135.3	70	116.0
羽黒町	176	214.4	120	146.0	65	59.9
櫛引町	119	180.4	101	111.8	56	62.3
三川町	44	49.6	43	72.4	41	49.4
朝日村	63	47.1	45	53.4	35	42.6
温海町	58	39.6	52	26.0	47	27.2
計	763	1,072.3	596	823.3	421	484.8

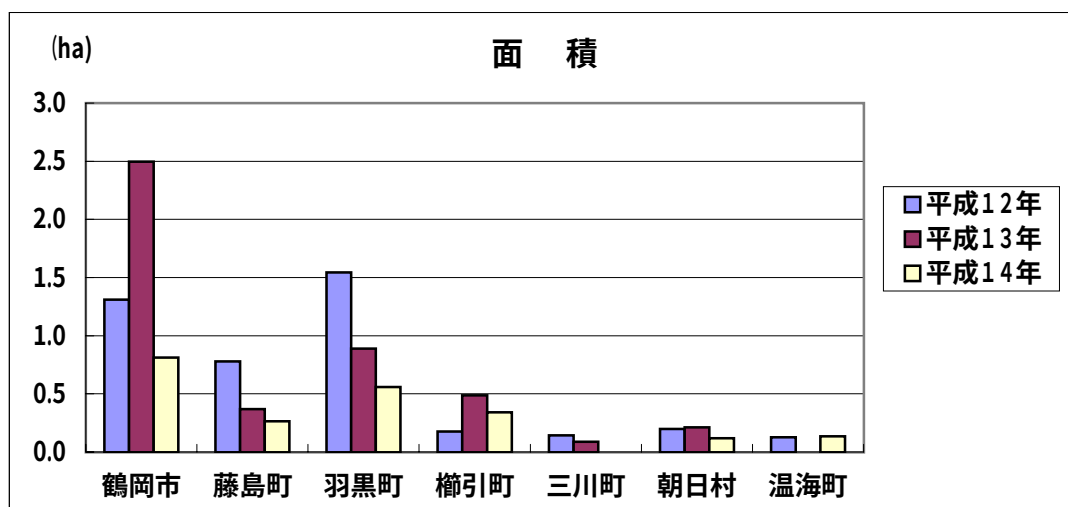
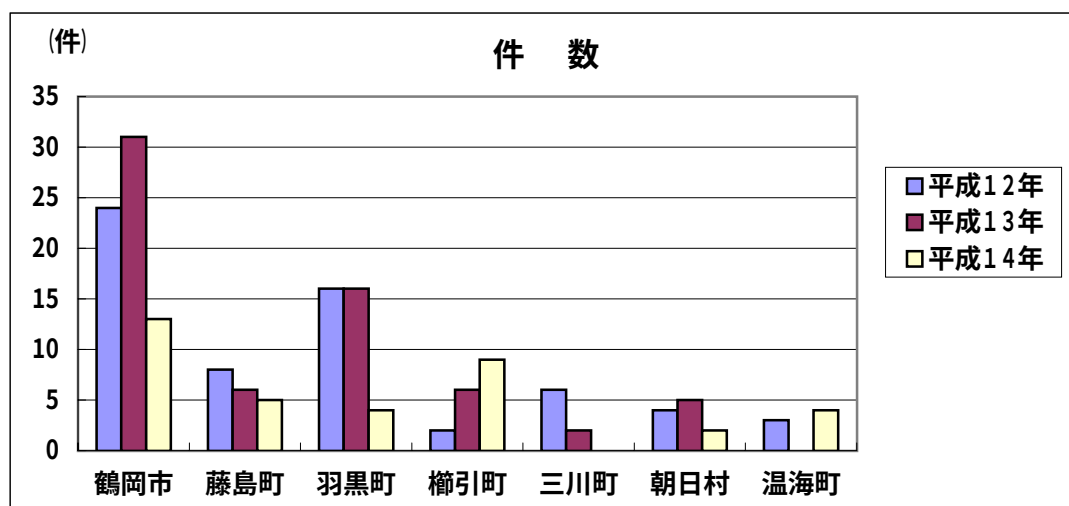


(口) 4条 (自己所有地を転用する場合)

[現状] 平成12年に比べ平成13年は若干増加したが、14年は大幅に減少している。

単位：ha

	平成12年		平成13年		平成14年	
	件数	面積	件数	面積	件数	面積
鶴岡市	24	1.3	31	2.5	13	0.8
藤島町	8	0.8	6	0.4	5	0.3
羽黒町	16	1.5	16	0.9	4	0.6
櫛引町	2	0.2	6	0.5	9	0.3
三川町	6	0.1	2	0.1	0	0.0
朝日村	4	0.2	5	0.2	2	0.1
温海町	3	0.1	0	0.0	4	0.1
計	63	4.3	66	4.5	37	2.2

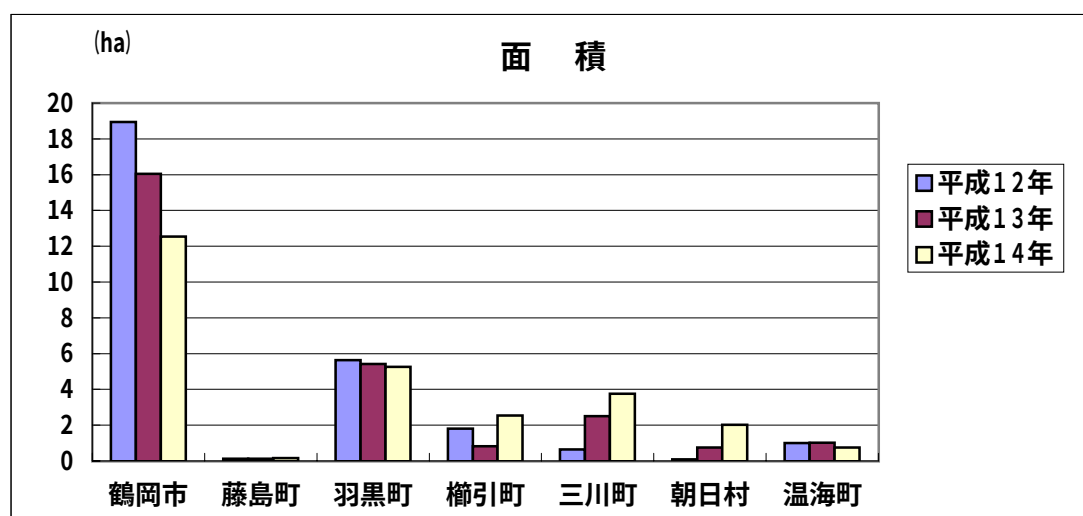
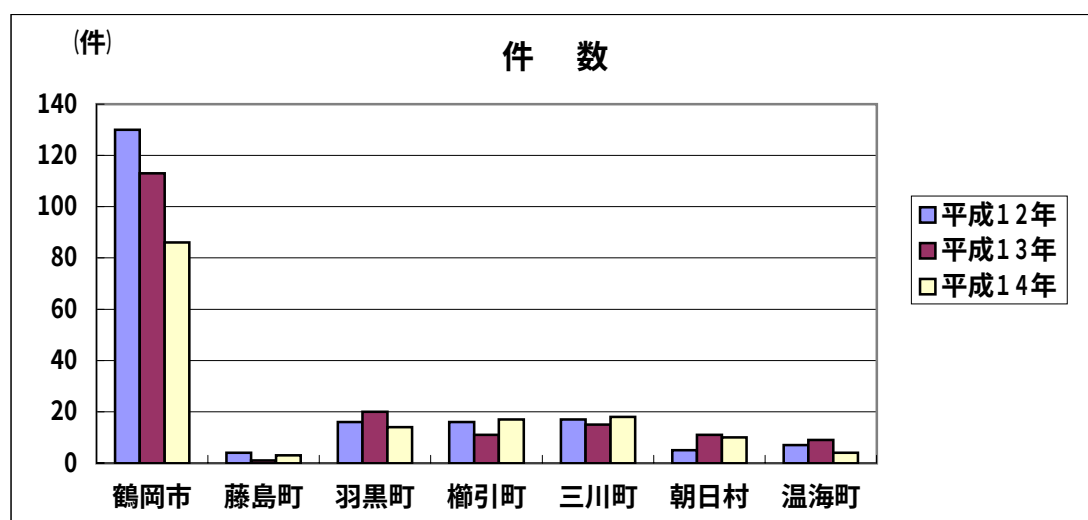


(ハ) 5条 (農地等において転用を目的として権利の設定又は移転する場合)

[現状] 平成13年に比べ平成14年の面積は若干増加したが、全体的には減少傾向にある。

単位：ha

	平成12年		平成13年		平成14年	
	件数	面積	件数	面積	件数	面積
鶴岡市	130	18.9	113	16.0	86	12.5
藤島町	4	0.1	1	0.1	3	0.2
羽黒町	16	5.6	20	5.4	14	5.3
櫛引町	16	1.8	11	0.8	17	2.5
三川町	17	0.6	15	2.5	18	3.8
朝日村	5	0.1	11	0.8	10	2.0
温海町	7	1.0	9	1.0	4	0.7
計	195	28.3	180	26.7	152	27.0



② 農業経営基盤強化促進法に基づく取扱い

- (イ) 利用権設定(年度別) (利用権設定等促進事業による農地の貸借で、市町村が策定する農用地利用集積計画の公告により利用権が設定されるもので、期間満了になると自動的に利用権は終了する)

[現状]

期間満了に伴う再設定により一定の面積は確保されているものの、米価の下落、生産調整の拡大に伴い新規の農地集積は鈍化傾向にある。

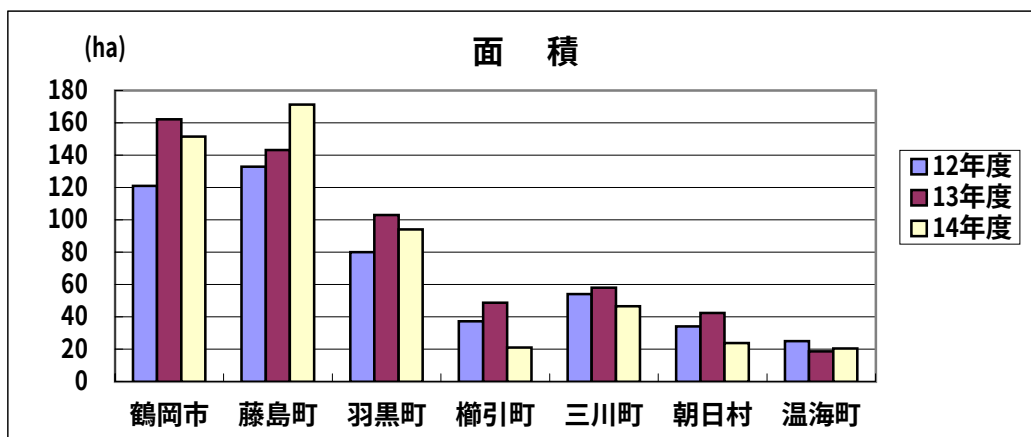
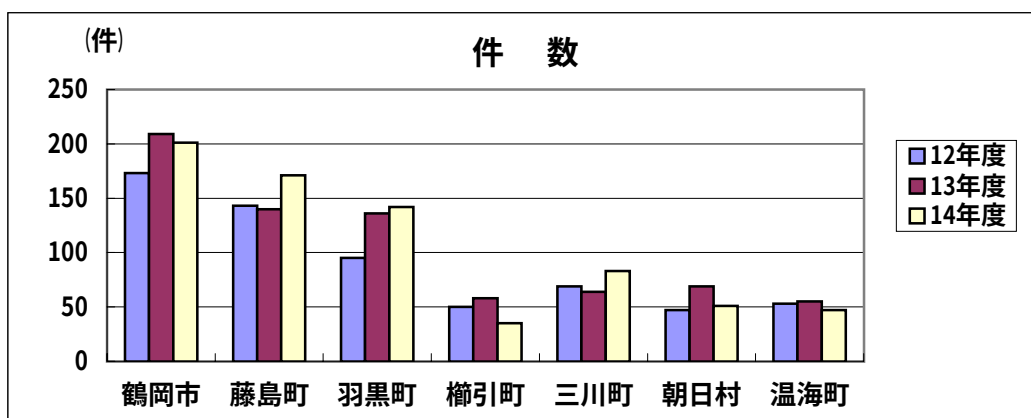
また、受け手側の後継者不足により、利用権再設定が出来ない等の問題も出てきている。

単位:件、ha

	12年度		13年度		14年度	
	件数	面積	件数	面積	件数	面積
鶴岡市	173	121.0	209	162.2	201	151.5
藤島町	143	132.8	140	143.1	171	171.3
羽黒町	95	80.0	136	103.0	142	94.0
櫛引町	50	37.3	58	48.8	35	20.9
三川町	69	54.0	64	58.1	83	46.6
朝日村	47	34.1	69	42.3	51	23.8
温海町	53	24.9	55	18.7	47	20.4
計	630	484.1	731	576.2	730	528.5

[課題]

農地集積の受け皿となる担い手(受託組織、法人、個人)の育成



(ロ) 利用権設定等(ストック分) (利用権設定等促進事業による実集積面積である。)

[現状]

7市町村の平均利用権設定率は16.2%であるが、市町村により倍近い差がある。

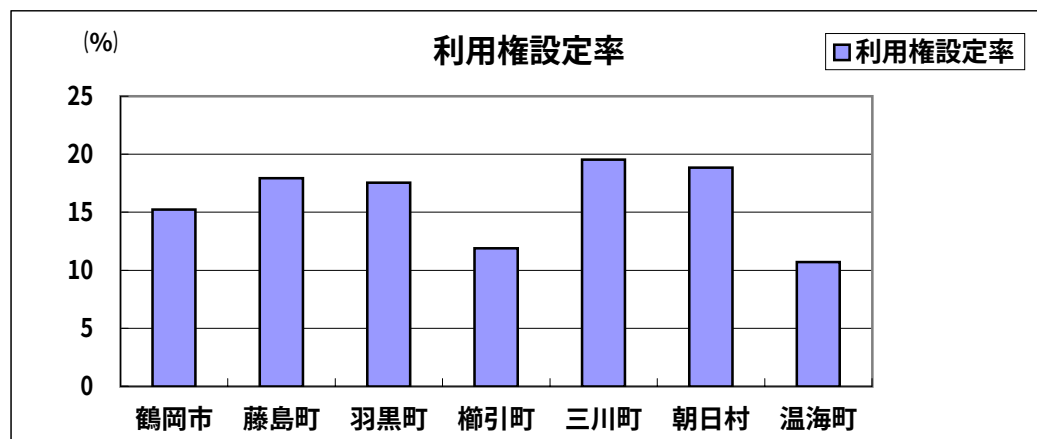
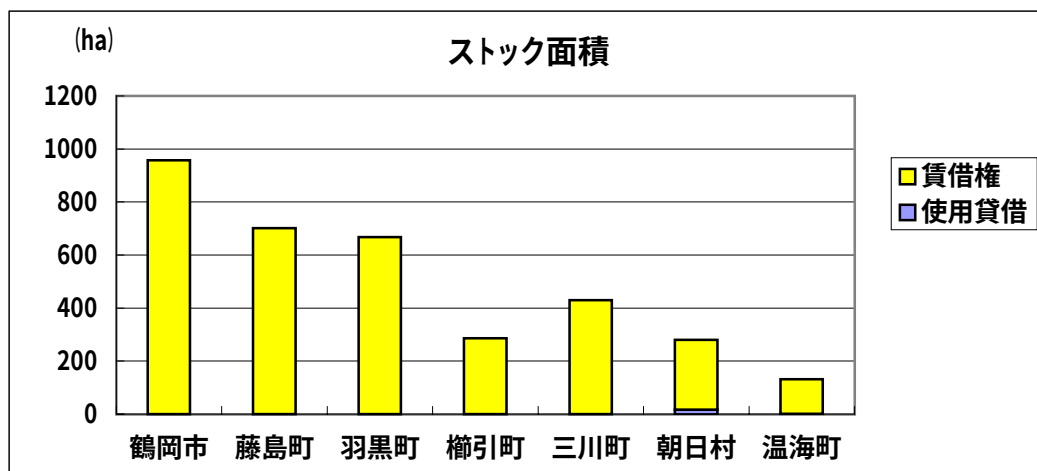
単位:ha

	農業振興地域内の農用地面積 (A)	利用権設定面積		合計 (B)+(C) (D)	利用権設定率 (%) (D)/(A)
		賃借権設定面積 (B)	使用賃借面積 (C)		
鶴岡市	6,287.0	957.4		957.4	15.2
藤島町	3,915.0	701.9		701.9	17.9
羽黒町	3,810.0	668.1		668.1	17.5
櫛引町	2,400.0	285.6		285.6	11.9
三川町	2,200.0	429.9		429.9	19.5
朝日村	1,487.6	263.6	16.7	280.3	18.8
温海町	1,230.0	130.1	1.5	131.6	10.7
計	21,329.6	3436.6	18.2	3454.8	16.2

注) 1.農業振興地域内の農用地面積は、H14.3末現在である。
2.利用権設定等面積は、H14.3末現在である。

[課題]

農地集積の受け皿となる担い手(受託組織、法人、個人)の育成



(ハ) 所有権移転

[現状]

米価の下落等から農地の買い手が少なく、農地価格は下落が続いている。
売却農地は今後も増加が予想されるが、買い控えや購入意欲の減退により
厳しい状況にある。

単位; 件、ha

	12年度		13年度		14年度	
	件数	面積	件数	面積	件数	面積
鶴岡市	51	25.7	43	18.0	41	25.5
藤島町	36	21.4	19	8.6	37	24.8
羽黒町	35	21.0	43	37.0	29	20.0
櫛引町	27	9.8	16	4.2	26	13.8
三川町	18	8.2	10	7.4	16	13.1
朝日村	0	0.0	1	0.1	3	0.4
温海町	1	0.2	2	1.1	4	0.8
計	168	86.3	134	76.4	156	98.4

[課題]

- ① 売買情報の関係機関、団体による共有化、ネットワーク化
- ② 資金対応支援の強化 (利子補給、融資等)

